

Contents

支部長退任挨拶	P2	わさもん	P17
とくべつきこう	P3-5	もよおし	P17
とびっくす	P6-7	委員会報告	
あのころ	P8-9	地域会活動報告	
よかもん	P10-11	編集後記	
協力会つうしん	P12-16		

公益社団法人
日本建築家協会九州支部

BULLETIN Kyushu BRANCH

The Japan Institute of Architects Kyushu branch

JUL.2024

九州で活躍する建築家のための情報誌

支部長退任挨拶

5月25日（土）に開催されました2024年度九州支部通常総会をもちまして、2期4年間務めさせていただきました九州支部長が任期満了となり退任しました事をご報告致します。

これまで多大なご支援、ご協力をいただきました全ての皆様に心から感謝申し上げます。

「未来への結束」というスローガンを掲げ、JIAの未来を見据えながらこの4年間、私なりに力の尽くす限り取り組んで参りましたが、至らない点や行き届かない点があったかと思います。その点は何卒お許しいただければ幸いです。

思い返せば、自身の設計活動に全ての時間を捧げていた30代の頃に松岡恭子さんからお声かけいただきJIAに入会しました。その頃は、建築家としてめざす方向性すら見出せず、ただひたすらに建築と向き合っていた時代で、JIA活動にも何ら参加する事のない会員でした。転機が訪れたのは前支部長の川津悠嗣さんが突然事務所に来られ、福岡地域会の執行部の一員として支えてくれないか。という依頼でした。JIA活動にも参加せずJIAの組織すら分かつていない私に突然のお声かけでしたら大変驚きましたが、あの時川津さんからのお声かけが無かったら、JIAの存在意義も分からず今もなお自己の世界観だけで活動している孤独な人生であったと思います。素晴らしいJIA仲間に恵まれた事で私の人生観も大きく変わり、人間としても成長をさせていただいた事に改めて感謝申し上げます。

私が福岡地域会長を拝命したのが2014年です。その後九州支部の副支部長や幹事長を務めさせていただき、支部長を終えるまでの10年間は、まさにJIA活動が私のライフワークとなりました。福岡地域会長時代は若手会員を集め、例会を議論の場に再編しながら活発な議論を湧き起こそうとお酒を飲みながらの討論会も行うなど、そのやり方には批判もありましたが、JIAが発注者支援を行った福岡県弁護士会館のプロポーザルの総括として、ファイナリストに残った作品を展示了した会場に、プロポーザルの審査をされた建築家や弁護士会の先生方もお越しいただき、落選した若手建築家が応募案を発表し、それを審査員が何故落選したのかを明らかにするという企画は私の中でも最も記憶に残る例会でした。ちなみに仕掛け人の私も落選者として発表をするハメになり、審査員から「最高裁判所と似ているから」と一喝され「たしかに」と回答し私の場は一瞬で終わりましたが、こうした議論の末で古森弘一さんの最優秀案がいかに素晴らしいプログラムで構築されているかが鮮明になり、発表した全員が次への

松山 将勝（九州前支部長）



糧となる機会がつくれたのは、まさにJIAだから実現できる有意義な場であったと思います。

2016年の熊本地震は、私たち九州建築界に激震が走った大きな出来事でした。当時副支部を務めていた私に災害対策本部の陣頭指揮をしてくれと白羽の矢が立ち、それから週に1度のペースで熊本に通う日々が始まりました。約1年間で1,450棟、調査延べ人数439名に及ぶ災害支援活動を通して、社会に貢献する建築家の姿や職能とは何か。自らにも問い合わせた1年でしたが、JIAが果たすべき役割について私自身の考え方も大きく変わった出来事でした。

九州支部長としての4年間は、コロナ禍にも見舞われた激動の中で試行錯誤の連続でしたが、その状況下でも各地域会に出向き若手建築家との対話は重ねてきました。彼らと対話する中で、九州で本気で建築を議論する場をつくってほしい。という声が多く、その議論の場をつくる目的から「九州建築新人賞」を創設しました。昨年度の第1回では、受賞者が決定した後に現地審査に残った10名の建築家と3名の審査員が公衆の前で直接議論を展開し、審査プロセスを明らかにするというシンポジウムは、全国の建築賞の中でも類のない初めての試みであったと思います。今後もJIAが主体となつてこうした批評性を持った公の場を創り出し、その成果が九州建築界の未来につながっていく事を願っています。

支部長の2期目となる2年間は、JIA副会長も兼任しJIA全体の組織運営にも携わらせていただきました。JIAが抱える直近の課題から長期的課題について、佐藤会長の側近として様々な課題に取り組んできましたが、道半ばで退任する事に申し訳ない気持ちを抱きながら後進に託したいと思います。

支部長を退任して早2ヵ月が経過しましたが、福岡地域会長から九州支部長、さらにはJIA副会長までの10年間を振り返る機会をいただきありがとうございました。これを持って支部長退任のご挨拶とさせていただきます。

最後に、この4年間、共に歩み支えていただきました、旧執行部の皆様にはこの場を借りて深く感謝申し上げます。

九州支部は、佐々木支部長、福田幹事長はじめ、新執行部も素晴らしいメンバーでスタートしています。新たな九州支部体制にもぜひご期待いただき、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

「地域会長・代表幹事として2年間を振り返る」



塩釜 直人（北福岡地域会）

コロナ禍の「まん延防止等重点措置」が終了した時期に、地域会長・代表幹事を仰せ付かりました。コロナはその後もくるぶり続け、国民に不安が広がる中、九州支部大会の北九州開催が決まりました。右も左も分からぬ中でしたが、「対面開催でなければ開催する意味がない」を合言葉に、北福岡地域会の諸先輩方や仲間と準備を進めました。メイン事業である、「日韓合同学生ワークショップ」（以下、日韓学生WS）を九州支部会員の皆様に生で体験して頂きたいと思い、日本の学生は対面形式とし、韓国はリモートで中継し、2021年JIA新人賞受賞者の木村吉成氏をはじめ、松山支部長、尾道先生、岩下先生が講師を引き受け下さり無事に九州支部大会の開催に漕ぎ着けました。ギリギリまでコロナの猛威に脅かされ、ウエルカムパーティの食事の提供を小分け式にし、ドリンクを缶提供にしたりと、綱渡りの運営でしたが、結果として支部会員他54名、日本学生34名、韓国30名（リモート）に参加をいただき盛会を迎えたことに感謝しております。

日韓学生WSを通して、JIA新人賞受賞者との絆が出来ました。2022年木村吉成氏の京都の事務所を訪問し、作品見学などを通じて設計思想に触れました。2023年畠友洋氏の神戸の新人賞受賞作の自宅にお邪魔し、絆を深めました。韓国との絆も強くなりました。昨年の日韓学生WSで25回目の開催となり、先輩方がバトンを繋いでくださった日韓交流は、コロナ禍でもリモート開催により1度も途絶えたことがありません。その絆により、日韓の学生へ25年間という長い時間の国際交流や建築文化の交流の場を与えることができてきたのだと思い



2022九州支部大会



2024釜山建築フェスティバル

2022木村吉成氏
事務所訪問の様子2023畠友洋氏
甲陽園の家訪問の様子

ます。一昨年からは、釜山にて開催されている「釜山建築フェスティバル」に招かれるようになり、更に次年度は日韓学生WSの韓国開催という未来にまで繋がってきました。

2年間の活動を通して、九州支部や北福岡地域会の先輩方や同年代の同士との対話や活動ができた事は、人生の大きな宝となりました。



福田 哲也（福岡地域会）

「動けない2年と、動き始めた2年」

私は福岡地域会長を2期4年務めさせて頂きました。九州支部の皆様、福岡地域会の皆様、任期中は本当にお世話になりました。

1期目2年は、コロナ禍もあり、企画を立ち上げては中止やむなく、皆様に残念なお知らせを繰り返し、それでも何かできることはないかと、リモートでの協力会セミナーを企画したりしました。協力会の皆さんのが設計事務所を回る

ことも難しい状況下で、毎週金曜12時30からの15分間、同じチャンネルで協力会企業が週替わりでセミナーを行うという企画で、ある企業は福岡と別地区の工場をつないで製作過程を臨場感あふれる紹介をしたり、ある企業は現場での休み時間に軽パンの中で手造りのボードを一人で紙芝居のようにめくりながら説明したり、リモートならではの面白い企画が続きました。福岡地域会の肝となる活動の一つ公開例会でも、リモート配信で建築家の講演や登壇者のみのソーシャルディスタンスを考慮した配信を行い、企画によっては九州以外も含め100名を超える参加者があり、リモートの可能性を感じた2年となりました。

2期目2年は、徐々に動けるようになり、対面で色々な企画ができるようになってきました。リモートの便利さを知ってはしまいましたが、やはり直接会って面と向かって議論する事、建築を現地で体感する事を大事にし、公開例会、見学会を開催してまいりました。建築家の新関謙一郎さんをお呼びした例会では、手嶋保さん、井上洋介さんも東京からこの例会に合わせて遊びに来て下さり、飛び入り参加で福岡の建築家と議論を交わすなど、あらためて、集まるエネルギーの大切さを感じた瞬間でした。その日は深夜深くまで皆で酒を酌み交わしたのは言うまでもありません。

コロナがあけて、リモートを交えたハイブリッドな時代が幕をあけましたが、無駄と言われようとも人と人が集まるエネルギーを大切にしながらこの2年活動してまいりました。その後は新地域会長の有吉さんに託しましたので、皆様、これからも事あれば集まって、楽しい時間を共に過ごしましょう。地域会長は退任しますが、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



野中 毅 (佐賀地域会)

2年を振り返って、新型コロナが昨年5月に「5類」移行したことにより佐賀地域会も十分活動できると思っていましたが、なかなか

平常にもどることができずにいました。その中で、23年9月に開催された支部長漫遊記で、佐賀地域会は九州支部のトリとなりました。登壇者が5名で、会員外も3名の参加となり、4時間以上にわたる熱い思いを聞き、すばらしい時間を過ごせました。また、指宿での建築塾は感動しました。鹿児島地域会の宮崎会長はじめ会員の方々は準備等大変だったと思いました。お疲れ様でした。

さて、私が佐賀地域会の会長として4期目を終えようとしています。あった言葉間の8年でした。最初は、佐賀地域会の会員数の少なさに驚きましたが、今では2桁の会員数となり、これからも会員増ができると期待しております。またこれからは若手会員の方々が中心となる佐賀地域会になることを見てみたいと思っております。



支部長漫遊記より



林田 直樹 (熊本地域会)

熊本地域会は総勢15名程度（2024年2月現在14名）の少数精鋭からなる地域会です。

先輩方はすでに地域会長を1期は勤め上げていらっしゃるため、JIAに入会した次の年には副会長を務め、さらに2年後には会長を勤めないといけない状況にあります。

技術研鑽を目標に入会した会ですが、すぐに重責を担わないといけない状況になり、会の把握が十分できない今まで役員となる境遇になる事から急速に成長を求められました。

私は、38歳で地域会長となり最年少地域会長として支部役員会や全国会議の災害対策委員と

してJIAの本部会議に参加せざるえない状況となりました。今思えば、その状況がすごく良かったと思います。本来なら30代、40代は自分の設計作品と向き合い、没頭する期間になるのかもしれません。しかし、私は地域会長となる事で時間的な負荷はかなりありましたが、熊本以外の建築家の方々と触れ合う事ができ、各地域で活躍する建築家の作品を拝見させて頂いたり、オープンハウスに呼んで頂いたりする事で視野が大きく広がりました。リフレッシュセミナーにも参加させて頂き、建築創作活動をより多面的に捉える事ができた2年間になったかと思います。地域会活動としても2年間の間に、コロナで止まっていた事業を全て復活させて行いました。中でも力を入れていたのは熊本住宅賞です。ハウスメーカー出身の私としては、設計事務所のみならずハウスメーカーで設計する設計士にも積極的に応募してもらい批評する事で建築文化の向上につながる事を期待していました。結果、ハウスメーカーからの応募はある一定数ありましたが、賞は設計事務所を主催する建築家の方が受賞されました。ハウスメーカーの設計士には結果だけを見ずに現在地の把握と設計活動の指針になれば良いなと強く思います。

私は今年で40歳になりますが、今年も自己研鑽と作品制作、公益事業への貢献全てに全力で向き合いたいと思います。各地域会長の皆様、役員の皆様、2年間お疲れさまでした。ありがとうございました。



重田 信爾 (大分地域会)

新型コロナが猛威をふるう2020年に地域会長を拝命したものの特段活動ができず、コロナ対応に落ち着きが見られた2022年、地域会の皆様の後押しもあり、2期目の地域会長を拝命いたしました。この2年間は、地域会活動をオンライン中心から対面へと切り替え、会員、協力会員、+Aの皆様とのスキルアップや情報交換・収集を念頭に、例会企画を充実させたく取り組みたいと考えてきました。結果として、例会企画担当の松田会員・足立会員らの尽力で、2年間で開催した例会21回の内17回で例会企画を実施することができました。その内容は、会員の近作発表や協力会員の商品・技術セミナー、外部講師をお招きしての講演と、非常に充実したものとなりました。特に外部講師については、建築以外の分野…城跡研究者、彫刻家、美術館館長、美術館学芸員…からも多数お招きし、幅広く興味深いお話を聞きることができ、大分地域会らしい例会企画が開催できたと思っています。

コロナ対応から現在にかけて、大分地域会会員の皆様・協力会員の皆様の多大なご協力で、何とかこの2年間を充実したものとすることができました。建築作品展のような特別イベントは開催できませんでしたが、それは次期以降につなげていければと考えています。

ご承知の通り、来年度「JIA建築大会2024別府」（開催地：大分県別府市）が決定しました。一昨年末から開催地候補に挙がっていましたので、この2年間の半分以上、建築家大会のことに触れてきました。糸余曲折を経て、最終的に大分県開催の受け入れ決断をした地域会長としては、この建築家大会を九州支部の皆様のご尽力で成功につなげたいと切に願いながら、2期目を終えたいと思います。ありがとうございました。



住宅賞審査の様子



久壽米木 和夫（宮崎地域会）

私は2000年に独立開業しました。当時はまだ世の中の景気状況も芳しくなく、何のあてもなくとりあえず開業しただけの私は仕事の話にはダボハゼのごとく食いつき、また、諸先輩方から世間を広げるためだと勧められるままに諸々の会へ入会する日々を過ごしていました。

事務所の状況がある程度落ち着いた頃、独立する直前の事務所の所長、副所長から勧められ、建築への想い喚起のためと考えJIAへ入会させていただきました。

ただ入会はしたものの日々の仕事に追われ、また、身の丈を知らずに諸々の会の役を引き受けてしまっていたため、ここ最近までJIAの活動はほぼ手つかずの幽霊会員状態でした。

そのような私が地域会長を受けることになり、地域会活動はおろか支部活動についての知識もほぼ白紙の状態でのスタートとなりました。

委員会の構成や内容を理解出来ぬままの、前例のみ参照にした事業計画の作成したものの、

コロナの時期に止まっていた仕事の依頼の集中と親の介護のスタート…例会の開催もままならず1年目は散々な結果となりました。

2年目は少し身辺整理をして臨みましたが、まだ相変わらずの状況がまだ続いています。

言い訳とボヤキばかりになりましたが、本当に他の会員の皆様の活動を拝見するにつけ頭が下がるばかりです。地域会の会長職は、新年度のもう1期務める予定となっています。

地域会としての新たな取り組み等はまだ考えられませんが、とりあえず他地域会の皆様方と足並みをそろえられるよう精進したいと思います。



宮崎秀志（鹿児島地域会）

一言で言えば目まぐるしくあつという間の2年間でした。

2年前代表職を拝命いたしましたが、何をどうすれば良いかすら解らず諸先輩に聞きながらのヨチヨチスタートでした。覚悟を決めテーマに「若手支援」を掲げ、それぞれの事業が若い設計者にとっての支援につながる事を目標として活動して参りました。目に見える成果を短期間に上げるのは簡単ではありませんが、今後の地域会活動の一助になればとの思いで務めて参りました。

さて、コロナ禍からの反動もあり事業再開、対面交流など代表職としての実働数が一気に増加し、昨年は会議や事業等関わる数は50を超える本業以外の活動にこれだけの時間を割いたのは人生初でありました。しかしこの間の充実感は何事にも代えられず多くの方との出会えた事は人生の良き経験となりました。

就任中、最も大きな事業は建築塾でした。私の出身地の指宿での開催ということもあり講師と代表の2役を背負い余裕もなく走り回り、鮮明な記憶は塾生の笑顔だけでした。

また、全羅北道建築士会（KIRA）との交流ではオフィシャルな場での挨拶が7回もあり挨拶文を「ChatGPT」の力を借り作成したもののが結局、その場の雰囲気での話になったのは私だけの面白い経験となりました。新たな事業として青森地域会との交流も始め大変有意義な活動が出来たと自負しており、今後も継続に向けて尽力する所存です。

私は今期をもって退任し次期代表に引き継ぎますが、将来的には若手中心の執行部が望ましいと考えております。若い方が無理なく活動できる環境づくりとして身の丈にあった事業内容、体制づくり、市民や行政にJIAを知っていただく為の広報活動など微力ながら貢献していきたいと考えております。

最後に鹿児島地域会の皆様には感謝しかなく「歴代一頼りない代表」を支えていただいた事に改めて御礼を申し上げます。

「バカの壁」と「建築の壁」

健康維持対策として日課にしている自宅周辺でのウォーキングの道すがら、既に設計の実務は引退しているのだが、かつての職業柄住宅の表情が気になり、面白いものはないかと怪しまれない程度に物色しながら散歩している。住宅の表情は屋根形状で大きく左右されるが、木造住宅では概ね切妻、寄棟、片流れの3種類であり、その結果壁の仕上げ方が大きく影響を与えていた。壁について再度検証してみた。壁からの連想で随分前に読んだ養老猛司さんのベストセラー「バカの壁」が頭をよぎり読み直してみた。そこで今回はこの二つのフレーズから少し述べてみる。

「バカの壁」なる本は次々と例を上げて書いているのだが、バカの壁の具体的直接的表記は最初の方の16ページあたりに「自分が知りたくない事については主的に情報を遮断してしまっている。ここに壁が存在します。これも一種のバカの壁です」と述べているところだけで、その後最後まで「バカの壁」というフレーズは一行も出てこない。多くの事が推論推測であって最初に結論めいた事を持ってしまう事が壁になるという事と私は解釈した。これがバカの壁であると言いかねない。言い切ったら既に論理矛盾を起こすわけで「これも一種のバカの壁である」にとどまるわけだ。これがバカの壁であると言いかつてしまふと逆に

西岡 弘（福岡地域会）



それ自体が壁になると言うレトリックの罠にはまり込む事になってしまふという事だろうと、勝手に好意的に解釈している。いずれにしてもテレビにも良く顔を出す氏の語り口は、いつも禅問答のようなところがあつて判ったような、判らないようなところがある。従つてこの本を読んでバカの壁とはどういう壁だと判り易く説明できる人はどれだけいるだろうか。専門の脳の話から宗教、哲学科学、趣味の域を超えた昆虫採集から日常の雑事すべてに渡つて恐らくはバカの壁の一つ一つを例として上げて説明しているつもりなのだろうが、本人が望まなくとも啓蒙書ととらえれば随分不親切な本ではある。次々と出される凡例を読んでいるうちに最初の問題提起を忘れてしまうからだ。

さて建築の壁についてであるがこれもこうであると言い切るとこれまたバカの壁に組み込まれてしまう。こうした方が望ましい程度で読んでもらえたらよい。

基本は大仰な事でなく既製品は既製品らしく、素材は素材そのものらしく使うということが大事なのだ。朗人快語3—35「張りぼて建築」の項でも少し書いているが、今の木造、鉄骨造建築はすべて張りぼて建築である。張りぼてでも良いのだが○○擬きは余り薦められない。漆喰壁擬き、タイル張り擬き、板張り擬きの表情の住宅が非常に多い。現代の化学製品として

の建材は、環境問題や化石燃料消費抑制などを言い出したら、生活水準を変えずに使える素材製品はほとんどないと言ってよいだろう。アルミサッシ、各種セメント成型版、ガルバニウム鋼板等どれも性能は良い。使い方次第なのである。前述の擬き壁の中でもタイル張り擬きとか板張り擬き壁は、都合の悪い情報を遮断するなどと言う意識すらない意味ではバカの壁以前だが、極めて薄く施工する新材としての漆喰壁擬き、土壁擬き壁こそがバカの壁ということではないか。

「バカの壁」の本の如く各構造ごと各素材ごとに壁の凡例を上げて述べていたらやはり1冊の本になってしまふので一つだけ例を挙げるとしよう。それは鉄骨造の住宅についてである。積水ハウスは構造体が木造、セキスイハイムは構造体が軽量鉄骨ということらしいが、この手の工業製品化住宅と純鉄骨造の住宅は取り敢えずおいて置き、設計者がかかわる耐火被覆の必要な鉄骨造住宅について考えてみる。太鼓貼り壁の中の柱は隠れてしまうので問題ではなく吹き抜け他で出てくるであろう1, 2本の露出される独立鉄骨柱についてである。ふつうに扱えば構造計算で必要な太さの普及品の鋼管や型鋼に普通に耐火被覆しその上に化粧材で覆うことになる。コンクリート柱よりは細いが鉄骨造らしくない太さの柱が露出することになる。バカの壁ならぬバカの柱である。これをぎりぎりの構造計算をクリアする厚肉鋼管を用い、性能の良いできるだけ厚さを押さえられる耐火被覆を施し、外側のカバーも溶接が利き構造に働く厚さの鋼板を曲げ加工して

覆ったものにする。中心の鋼管の上下のプレートにカバーも溶接して柱の座屈防止に参加させる。こうすればスレンダーな柱になりバカの柱などと言われないで済む。

建築デザインの要諦は、押しなべて全体に神経やお金を費やすのではなく、ここぞというところを知的に押さえる事ではないだろうか。

あれから30年、地域とともに

1995 入会

当時、私は38才であった。独立してから2年ほど経った時期だと思う。理由は建築家として成長できればとの思いと今は亡くなられた小井氏の他、優しき先輩たちの熱きお勧めによるところが大きい。

2001 佐賀地域会私の最初の活動

第6回建築塾を佐賀地域会の担当で開催された。後身の指導に貢献しようとの意気込みで地域会員一同は準備に精を出したことが思い出される。会場の武雄市の徐蘭塾は全寮制の私塾で1942年に建設された。当時の建物の一部が現存し、国の登録有形文化財に登録されている。設計はフランク・ロイド・ライトの弟子の遠藤新が手掛けた。また、近くには辰野金吾設計の武雄温泉新館や楼門があり、これらを中心とした温泉街の将来像をテーマに塾生たちの熱意ある構想案作成とプレゼンに大いに刺激された。

2002 佐賀地域会「職人と語る会」の活動

これまで「職人と語る会」題して伝統建築に携わる職人の方々を講師に迎え、その匠について話を聞



建築塾イン武雄

馬場 泰造（佐賀地域会）



き、膝を付き合せた意見交換を行うなどのホットな座談会を催してきた。伝健地区の「鹿島市肥前浜宿酒蔵通り」を会場に、3月30日の「第1回 肥前浜宿 花と酒（咲け！）まつり」に合わせ、修復現場を見学し、地元職人さんとその実際にふれ、今後の課題を探った。地道ながらも建築家が地域と向き合う姿勢だけは、後輩建築家達への贈り物となれば嬉しい。

2010 JIA全国大会 北九州大会

仕方なく地域会長になってまもなくの一大事業。全国大会では会場対応のため、3日間を支部役員の方々と共に過ごすこととなった。ここで、私にとって一気に支部やフレンドリな役員の面々が身近な存在となった。その後、支部役員会とその後の一杯がそして各地を訪れる地域交流会が私の楽しみの一つとなっていました。

2012 リフレッシュセミナー参加

3月4日～6日 JIA主催のリフレッシュセミナーに参加した。会場は熱海リフレッシュセンター。



JIA全国大会イン北九州

セミナーとディスカッションそしてネットワーキング・セッションは初めて会うよそのJIA会員達との交流勉強会。内田 祥哉先生を講師に迎え、木材と産業そして耐火木造について受講。人見知りの私は最初のコミュニケーションからが修行。熱いメンバーとは最後は意気投合。久しぶりに学生なったような新鮮な時間であった。

2014 九州支部大会 長崎・佐賀大会

本大会準備に明け暮れた1年だった。とは言うものの長崎地域会のおかげで佐賀地域会の面目が保たれた。地元鹿島市と嬉野市で合同開催された第34回全国町並みゼミとリンクしたエクスカーション佐賀コースを設定、会員の多数の参加を得ることができた。私はこれまで20数年間、地域の町づくり保存・活性化運動に地元建築士仲間と活動してきている



九州支部大会イン長崎・佐賀 佐賀エクスカーション

が、JIAの皆様にも地域活動の一部をご紹介できて喜ばしい機会であった。

2016 熊本地震 応急危険度判定調査・罹災証明調査応援

4月14日及び16日に震度7の地震が熊本県熊本地方を中心に発生。佐賀県の我が家でも大きく揺れた。私の実体験では以前いた仙台での19

78年の宮城県沖地震以来であった。九州支部の要請で都合6回程現地調査に向ったと思う。まざまざと自然の脅威を感じた。自然への畏敬の念は忘れてはならないし、建築も進化しなければならない。

2017 再び建築塾イン佐賀

第6回建築塾に続き2度目の佐賀県開催。ステージは佐賀市。テーマは「クリーク（水路）と歴史的建築のリノベーション」。地域素材を活き返らせん



建築塾イン佐賀の様子

ともがく、若き塾生たちの情熱は20年前と変わっていない。変わったのは主催側実行委員の若返り。改めて「時代は回る」を実感。

2024 今

「あの頃の思い出」という見出し関わらず、あれこれ書いているうちに現在までできてしまった。過去のことを書き出すと懐い気持ちになってしまうのは歳をとった私の気のせいかな。これまで、過去を振り返る余裕もなかったし、その気もなかった。この機会を得て、久しぶりに私のスクラップブックを開いてみた。その先にも明るい何か透けて見える気がした。

ワタシのタカラモノ

上段見出しのお題で原稿依頼を承諾したのだが、私には特別モノ等に固執することや物欲が無く、さんざん考えた挙句どうしても思いつかない。さて断ろうかとも頭を過ったが、今更感が強く、

「つれづれなるままに、日暮らし硯に向かひて、心にうつりゆくよしなしごとをそこはかとなく書き付ければ、あやしうこそ物狂ほしけれ。」芭蕉

という訳で以前生活していたホタイチについて記してみたい。

私が保田窪第一団地（通称ホタイチ）を初めて知ったのは1990年、熊本大学建築学科の1年次の授業だった。故・木島安史先生の「現代建築論」で、当団地をスケッチし分析することがレポート課題とされたのだ。その頃、当団地は「くまもとアートポリス事業」の一環として立替工事が進んでいた。工事はⅡ期に分かれており、あまり記憶が定かでないが、私が訪れたのは恐らくⅠ期工事が終了したばかりだったかと思う。そのため、特徴的な中央広場の存在を感じることはなく、外階段と住戸に掛かるヴォールトの屋根が印象に残り、確かに私は外部階段のスケッチを描いた気がする。今となって思い返せば、正直なところ「良くわからなかった」のである。

それから1年後、私は2年生になり、故・延藤安弘先生の「建築計画」の授業で、再びホタイチと出会うことになった。その頃はⅡ期工事が工事中で、Ⅰ期分に

パンテオンのドーム

長野 聖二（熊本地域会）



は従前居住者が既に住み始めており、地元新聞に「生活優先か？デザイン優先か？」という刺激的な見出しが躍り、入居者と新聞社による大バッティングが沸いていた。延藤先生は、前述の新聞で、設計者の山本理顕氏と往復書簡を交換するという形で、設計の意図などを読者に伝えようと腐心しておられた、と思う。そしてこの時の授業は、その新聞をもとにした授業だった。

ご存知の通り、ホタイチは玄関を入って一度屋外に出て、ダイニングキッチンへ通じているプランであり、建築学科生としていくばくかの知識を得ていた私、ナガノ青年はやっとその意味を少しは理解し、安藤忠雄氏設計の「住吉の住宅」を積層したもののか、と勝手に解釈していた。勿論、それがホタイチの本質ではなく、原型にあるのは「山川山荘」であろう。そして「闕」と呼んでいた外部（社会）住宅、中央広場に至る空間配列に最大の特徴があるのだが、その本質は住民に理解されることはなく、「テレビやエアコン、電話が2つ必要だ」「冬季の風呂上がりに外へ出てダイニングに向かう必要がある」等、設備や環境への不満が多くかった。

3年次、私は延藤安弘・横山俊祐研究室に入った先輩の調査手伝いで、ホタイチの住戸の中に初めて入ることになる。非常に刺激的であった。外部には閉鎖的でコンクリートとスティールで構成された無機質な印象であったが、中央広場は開放的で豊かな空間だ、と

感じたのを覚えている。また、調査をした住民の中には、例えば湿気の多い井戸状の専用中庭で椎茸を栽培したり、日当たりのよい中央広場側では観葉植物を育てたり…と、環境に応じて柔軟に住みこなしている方々が少なからずいた。そういう方は割と若年層が多くなったことも影響していたと思うが、「この団地に住んでみたい」と当時の私は強く願った。ただ、公営団地の入居条件に「単身者は65歳以上」というハードルあり、その後結婚して子供を設けるまで10年以上のブランクを経て、2004年やっと入居にこぎつけたのである。

中央広場に面するダイニングは階数によって異なるが、基本的には2面が専用テラスに面したガラスの開放で、もう1面が中央広場に下りる勝手口、そして残りが和室棟と繋ぐブリッジになっている。なんと4面を開放できるという集合住宅ではありえない開放性を有しており、風通しは抜群に良く、冬季以外の3季は非常に快適な空間であった。我が家は当時カーテンの必要性を感じておらず、専用テラスと一体化していたので、視覚的には広々としたダイニングでとなつた。ある休日の朝、部屋の中で使用していたダイニングテーブルを専用テラスに持ちだして朝食を摂ったところ、すこぶる快適で、その後寒くなるまで夕食も含めて毎日外で食事を摂っていたのを良く覚えている。

当時小学低学年であった2人の子供たちは夕食後に中央広場に遊びに行き、夏は暗くなる20時まで遊んでいた。中央広場は基本的には住宅の中を通らないと入れない。住宅がそのフィルターの役目をしていたのだ。すなわち中央広場に不審者が入ることも無く、また住戸も中央広場に対して開放的に設えることが可能

になる。我々としては子供たちが団地の外に出ることが無いため、安心して自由にさせていた。その後、年を重ねるうちに彼らも思春期を迎えて、中央広場に出ると視線を感じる等の理由で、そこに出る事も皆無になり、ダイニングテーブルも室内化し、カーテンも設置することになった。まあ、通常のイエに成り上った（私的には下ったという方がしっくりくるのだが）のである。

昨年、JIA25年建築賞にホタイチを地域会で推薦し、現地審査も行ったのであるが、残念ながら当賞は逃してしまった。公共建築にありがちなメンテナンスに難ありとみなされたのかもしれない。しかしながら今年に入ってプリッカ一賞を理顕さんが受賞するという一報が入り、闘う建築家としては一番縁遠い賞だと個人的には思っていたので（良い意味で）非常に大きなサプライズと喜びであった。願わくは授賞式でメダルを壇上からポーンと観客席に投げ入れ「僕が欲しいのはこんなものじゃないんだ」という理顕さんを密かに期待する。

あ、そう言えば欲しいものがあった。コレビュジェ大全集が欲しい。どなたか下さい。タカラモノにします。



JIA九州建築新人賞 報告

2023年度から支部新事業として【九州建築新人賞】がスタートしました。

目的はこれから建築設計・建築デザイン業界から九州をリードする若い力を輩出することです。年齢制限を設け、応募作品もリノベーション・ランドスケープ・内装デザインまでと幅を持たせました。これは昨今の建築家が設計の枠を超えて幅広く活躍をされている事を考え、それを評価する場を提供する意味も持っています。応募基準を九州に拠点のある事務所とし作品の所在地も九州に限ったことは特別な事だと思います。

1次審査・2次審査ともに審査員は次の3名の方にお願いをしました。多くの時間を審査に費やされたことに感謝を申し上げたいと思います。

九州建築新人賞 審査員

塙塙隆生氏（塙塙隆生アトリエ／大分地域会）

田中俊彰氏(田中俊彰設計室／福岡地域会)

柳瀬真澄氏(柳瀬真澄建築設計工房／福岡地域会)

2023年度第1回目は42作品の応募があり、レベルが高い作品が揃いました。

そのため1次審査は長時間の議論となり10作品に絞られました。その審査会に同席しましたが審査員間で繰り広げられる議論はとても見ごたえのあるものでした。

【1次審査】2023年11月14日 10作品を2次審査(現地審査)に選出

※1次審査の講評を九州支部HPに公開

住倉（小野良輔／小野良輔建築設計事務所）

熊本城特別見学通路（塙川譲／日本設計）

始良の家（西岡梨夏／ソルト建築設計事務所）

GALLERIA MIDOBARU（光浦高史／DABURA. m）

佐々木 寿久（福岡地域会）



HOUSE U (松井大佑／Atelier koma)

江津ハウス (矢橋徹／矢橋徹建築設計事務所)

Agri Chapel (百枝優／百枝優建築設計事務所)

木梁屋根のオフィス (佐々木翔／INTERMEDIA)

竹林の庵 (西村友吾／ニシムラユウゴ建築アトリエ)

隼人の家 (平野公平／平野公平建築設計事務所)

【2次審査】2024年1月29日～2024年3月3日 ※上記10作品の現地審査を実施

【最終審査会】2024年3月8日

第1回九州建築新人賞受賞者

江津ハウス (矢橋徹／矢橋徹建築設計事務所)

GALLERIA MIDOBARU (光浦高史／DABURA. m)

江津ハウス

木組み+ガルバニズム+相面鍛錆漆喰仕事所

施主は東京在住の実業家であり、この建物を自らの仕事所とすることを希望されたため、内装はまるでオフィスになってしまったとは思えないほど、自然な仕事空間を実現する。また、外観は木の質感を活かした、穏やかな存在感に

ある併せて、この建物が何をしているか想像

できる。また、この建物を担当したアーキテク

ンタは、建物ごとに「モノ」を

アーキテクチャ化した。矢橋徹氏は、アーキテ

クチャの構成には、主張と統一感を

持つことで、建物の個性を保ちつつ、建物

の意匠を引き立てる。建物の外観は、

内装は、建物の内側を想定して、

外観は建物の外側を想定して、

【発表】2024年3月22日 ※JIA九州支部HPに公開

【授賞式】2024年5月25日 (JIA九州支部総会)

受賞作品写真①

受賞作品写真②

【九州建築新人賞公開シンポジウム】

この賞は作品を評価すると共に真剣に議論する場が併設されており、受賞者決定後シンポジウムが行われました。2次審査選出者を招き公開討論を実施しました。

公開討論会では審査員に直接評価を尋ねができる貴重な場となりました。

また参加者同士の活発な意見交換が行われ、それぞれの考え方を理解する事ができました。

来期以降もこのシンポジウムは続けていきたいと考えます。

日時：2024年4月13日 14：00～18：00

登壇者：審査員 塩塚隆生氏、田中俊彰氏、柳瀬真澄氏

2次審査に選出された10名の若手建築家

司会：松山将勝氏（前JIA九州支部長）

今後、長きにわたり【九州建築新人賞】が多くの人からの信頼を集め活発な議論が行われることを期待します。



デザインレビュー2024 報告

池浦 順一郎 (福岡地域会)



今回で29回目の開催となった「デザインレビュー」は全国各地の大学、大学院、専門学校、高専などで建築を学ぶ学生達の意欲的作品の講評を通して、現代建築や都市環境を取り巻く諸問題を議論し、デザインの可能性とリアリティについて、広く意見を交換する場を提供する活動です。学生デザインのレベルを高めることはもとより、現代の建築批評や建築・都市デザインに対しての刺激となることを目的としています。福岡近郊の大学の有志が学生実行委員会を立ち上げ、JIA九州支部が事務局を担い、支部会員が実行委員会に加わり、学生をサポートするかたちで企画を進めてきました。今回は、新型コロナウイルスの影響からようやく解放され、オンライン形式でなく、対面形式にて開催することができました。2日目の公開審査に一般来場者も可能となりました。会場は九州産業大学内でした。学生達がクリティックと対面形式で議論を活発に行う様子こそは、このデザインレビューの醍醐味であり、大変有意義な時間だったことに思えます。1日目は開会式を行い、その後のポスターセッションでは学生達は順に巡ってくるクリティックや司会に対し1分の発表と2分の質疑応答でディスカッションを行うことができました。そして、今年は懇親会も催すことができ、そこでも学生達はクリティックと場外プレゼンテーションを行っていました。2日目は、決勝進出する8名予定でしたが、審査の結果10名を選抜し、2名ずつ対戦形式で登壇し、プレゼンテーションを行いました。結果、勝ち残った3名の中から最優秀賞と優秀賞が与えられました。この決勝戦の様子はLIVE配信も行い、広く視聴できるようにしております。今回は、コロナ以前のように模型やプレゼンテーションボードを展示することができ、議論も活発に展開され、会場がとても熱を帯びたものとなりました。

また、JIA九州支部では、建築教育支援活動の一環として、高校生を対象に『デザインレビュー2024』への見学参加者を「高校生レポーター」として募集しました。各地域会から普通科・工業科を問わず、これから進路を検討していく高校生に対して、全国各地の建築を学ぶ学生たちの取り組みや作品に触れ、建築の楽しさや魅力を感じてもらう事業です。今年度は現地見学を行うことができました。

次回のデザインレビューも学生達にとって、建築を考え、そして楽しむ場所となるように支援を続けていきたいと思います。

主催：学生デザインレビュー2024実行委員会

共催：日本建築家協会九州支部

特別協賛：株式会社総合資格

学生実行委員長：西岡樹（福岡大学3年）

【学生実行委員】：九州圏内の学生

【実行委員】：池浦順一郎 (DABURA.i) 、川津悠嗣 (かわつひろし建築工房) 、谷口遵 (建築デザイン工房) 、豊田宏二 (トヨダデザイン)

【場所】：九州産業大学 (Youtube LIVE配信)

【クリティック】：藤村 龍至 (RFA/東京藝術大学准教授)

野口 理沙子 (イナスデザイン)

秋吉 浩気 (VUILD株式会社)

塩崎 太伸（アトリエコ共同主宰/東京工業大学）

長坂 常（スキーマ建築計画代表）

【司会】：松山 将勝（JIA九州支部長／松山建築設計室）

■スケジュール

2月10日(土)予選審査・応募者数338、

3月9日(土)公開審査出展60名、ポスターセッション

3月10日(日)決勝選抜の10選を選定し、最優秀1作、優秀2作を決定した。また、クリティーク賞を各1名ずつ選出(合計5名)、同時にJIA全国学生卒業設計コンクールに推薦する予定者6名も選出された。

参加作品：予選登録者数448名、予選提出者338名、本選通過者62名、本選審査出展60名

■学生設計選奨

○最優秀賞：妹尾美希（日本大学）『モノの住所「我思う、そのたび世界在り。」』

○優秀賞：谷卓思（広島大学）『天泣で紡ぐ -遊緑民による砂漠緑化の提案』

：竹原佑輔（法政大学）『共編の詩 -建築の対話手法による非言語的空間の再編-』

■クリティーク賞

○秋吉賞：先本凌（九州大学）『裂目にて生きるを紡ぐ -荒廃し、自然を纏う建築的連関の創出-』

○塩崎賞：高田真之介（慶應義塾大学）『他なる空間のあわい』

○長坂賞：塚村遼也（広島大学）『ソルトロード』

○野口賞：野口舞波（大阪工業大学）『イキモノタテモノ 都市・ヒト・自然...量子物理の可能性とは。』

○藤村賞：中川優奈（工学院大学）『日常の死角に夢を見る。』

■JIA九州選奨

○志賀桜空（九州産業大学）『治山ノススメ』

○赤松里恵（福岡大学）『居植集 緑のあふれだしによる新しいコミュニティの形成』

○吾郷直哉（近畿大学）『建築的欲求解放宣言 -吐露する設計手法の思考実験と建築構想-』

○竹澤紀子（佐賀大学）『antialiasing school -壁が折りなす空間-』

○樋口夕希乃（九州大学）『Oyster Promenade～牡蠣殻ブロックで紡ぐ糸島の持続可能性～』

○先本凌（九州大学）『裂目にて生きるを紡ぐ -荒廃し、自然を纏う建築的連関の創出-』

■記録誌出版：学生実行委員会がデータをまとめた上、株式会社総合資格にて出版、販売を担当して頂く予定。



開会式の様子



ポスターセッションの様子



決勝トーナメントの様子

デザインレビュー2024 高校生レポーター活動報告

重田 信爾 (大分地域会) 左写真



高濱 和久 (北福岡地域会) 右写真



今年度も『デザインレビュー2024』の最終日（3月10日（日））に、「デザインレビュー2024 高校生レポーター」事業を行いました。本事業は、高校生に『デザインレビュー2024』を見学・視聴してもらい、全国各地の大学などで建築を学ぶ学生たちとその作品に触れてもらうことで、建築の楽しさや魅力を感じてもらうことを目的に、九州支部の建築教育支援活動の一環として2020年から取り組んでいる事業です。参加する高校生からはレポートを提出してもらい、支部からは会場までの交通費を補助しています。

昨年に続き、今年『デザインレビュー2024』が対面開催（YouTube配信併用）となり、高校生レポーターも対面・オンラインの併用開催として募集を行いました。今年は募集開始が遅れたこともあり、各地域会共通でなかなか応募がなかったのですが、最終的に北福岡地域会から3名の高校生の応募があり、参加していただきました。当日の様子について、高浜会員より報告いただきます。

昨年度から、私が「デザインレビュー高校生レポーター」の北福岡地域会の担当になったのですが、昨年度は参加者を募る事が出来ずに「今年こそは！」との思いで福岡県立戸畠工業高校の木戸先生にお願いをし、設計に興味のある生徒3名に参加して頂けるようになりました。北九州からという事で、対面開催に参加して頂くようになり当日を迎えました。決勝進出者のプレゼンテーションの前の時間を使い、福岡地域会 豊田氏のアテンドのもと、レポーターの高校生らと作品を見て回りました。そこで感心したのは、時間ギリギリまで豊田氏の説明に耳を傾けながら熱心に見て回り、3名それぞれが自分の意見や感想を議論しあっていた事です。我々が、時間を気にしないといけないぐらいの熱心さで、この子達は、設計の世界に入ったら伸びるだろうなと思いました。

決勝のプレゼンテーションにつきましても、決勝進出者の意見や想いを汲み取ろうと必死に聞いておりましたが、後から本人達に聞くと「レベルが高くて理解するのに頭を使いすぎて疲れました」と言っておりました。結局は、時間の都合で、審査結果を待たずの解散となっていましたが、本人達には有意義な時間と、新しい世界が広がったのではないかと思っております。

高浜和久（北福岡地域会）

現時点では、参加者の感想文提出はまだですが、当日の様子から、参加した高校生には何かを感じて頂けたのではないかと思います。九州支部が高校生に対しての建築・設計についての啓発活動の一翼を担えたのではと感じています。最後になりますが、デザインレビュー2024開催にご尽力頂いたデザインレビュー2024実行委員（学生・社会人）の皆様、ご協力を頂いた会員の皆様に、感謝すると共に御礼申し上げます。

<デザインレビュー2024高校生レポーター各地域会担当>

高濱和久（北福岡）、福田哲也（福岡）、清水浩一郎（佐賀）、一丸康貴（長崎）、林田直樹（熊本）、

重田信爾（大分）、越山明典（宮崎）、酒井一徳（鹿児島）、川津悠嗣（九州支部）



岩本 嘉子（支部事務局）

4月1日より事務局スタッフの一員となりました 岩本嘉子（イワモトヨシコ）と申します。週に3日（主に水、木、金）勤務しております。吉瀬さんの負荷を減らすことができるよう、早く仕事を覚え、今年開催される「JIA建築家大会 2024 別府」成功の一助となれるよう、仕事に取り組んで参ります。

1981年生まれ、出身は静岡県浜松市です。九州へは、前職の建材メーカー勤務時に、転勤でやって来ました。これまで色々な地域で暮らしてきましたが、福岡が一番暮らしやすく魅力的な街だと感じています。好きなものは、ラーメン、猫、地図、温泉、旅行、朝の連続テレビ小説です。朝の連続テレビ小説のひたむきで誠実な主人公の姿を見ることで、出勤前に自分を奮い立たせています。

以上、簡単ではありますが自己紹介とさせていただきます。よろしくお願ひします。



報告事項

③ <常設委員会> 活動報告

1 総務委員会	下山道男	苦情対応WG:川津悠嗣 知財WG:佐々木 信明
	1/18 第6回委員会	・入退会審査 ・業務受託のガイドライン（案）について（会長の委任状交付、支部のチェック、公益性の確認） ・補助金・助成金の取扱いに関するガイドライン（案）について（会長の委任状交付、所属支部の報告承認） ・2024年度委員会構成について ・能登半島地震について
	苦情対応WG :	報告事項なし
	知財WG :	報告事項なし
2 財務委員会	下山道男	報告事項なし
3 職能・資格制度委員会	佐々木 信明	12/20 職能・資格制度/本部建築家資格制度実務 合同開催委員会 ・常滑大会大会ウィークの総括、登録建築家制度 ・「理事懇+会長」案への今後の働き掛け、方向性等について ・「更新申請説明書入力の手引き」（郵送）2023年版報告
4 業務委員会	前田哲	建賄WG:田中康裕 (業務委員会連絡メールより) 業務報酬基準の改定を受けて、1月9日付で、国交省官庁営繕部の「官庁施設の設計業務等積算基準」と「官庁施設の設計業務等積算要領」が一部改定になりました。 官庁営繕部とは「公共建築設計懇談会」を2月に開催して、内容の説明等をしていただく予定です。 ・官庁施設の設計業務等積算基準 https://www.mlit.go.jp/gobuild/content/001716671.pdf ・官庁施設の設計業務等積算要領 https://www.mlit.go.jp/gobuild/content/001716672.pdf ・官庁施設の設計業務等積算基準等の運用について（通知） https://www.mlit.go.jp/gobuild/content/001716673.pdf ・公益社団法人 日本建築家協会 専務理事 筒井 信也 (Nobuya TSUTSUI)
5 広報委員会	川津悠嗣	支部は川津悠嗣、有吉兼次 10/27、11/27熊本地震記録誌WEB編集会議、11/2、12/8本部広報委員会WEB会議、12/22支部広報MTG、1/12本部広報委員会リーフレットWGweb、12/28 ブルテン12月号発行 1/16本部広報委員会、12/25 1/19熊本地震web、2/17支部長漫遊記総括討論会開催予定、1月中旬よりブルテン3月号準備中
6 教育委員会	田中康裕	報告事項なし
7 國際委員会	水本浩二	12/22 第9回国際委員会 (支部助成事業報告【九州：北福岡+鹿児島】、名誉会員候補者、2024年度活動、UIA登壇者ほか全9議題) ・2/2 第10回国際委員会
8 CPD評議会	田中康裕	報告事項なし
9 建築家資格制度実務委員会	佐々木寿久	12/20 資格制度実務合同委員会 内容は職能・資格制度委員会と同じです

報告事項

④ <全国会議> 活動報告

1 JIA環境会議	古森弘一	気候変動対応WG:福田展淳
	1月11日（木）17:30-19:30zoomにて環境会議開催されました。	九州支部などの協賛により開催することができたJIA2050カーボンニュートラルの現況報告がありました。 ・沖縄支部、九州支部、関東甲信越、支部地域会（日黒、杉並、世田谷、山梨、埼玉、群馬）、関東甲信越支部法人協力会員（ピーエス工業（株）、（株）イケガミ、四国支部法人協力会員（有限会社江工業）、（株）桜映画社、の協力により、2023年度（第4期）の開催を実行することができた。 ・協賛を募る過程で「来年度以降、協賛募集方式の継続は、不適施設」との意見が、協力者、非協力者の双方から多数表明された。 ・現環境会議議長（関東甲信越支部・袴田喜夫）と次期議長（四国支部・内野輝明）の意見を踏まえ、早急に理事会に、当該予算についての意向を表明する予定である。
2 JIA保存再生会議	柴田真秀	1月24日リモート会議開催、今回は能登地震後の文化財ドクター派遣事業の拡大会議を行いました。熊本地震時の対応を田島さんより発言していただきました。
2-2 JIA保存再生会議 文化財修復塾	田島正陽	1月10日、2024年度事業計画について会議した。（受講料について、プログラムについて、修了者の呼称についてなど） 12月10日門司港駅と近辺で現地講習が開催された。11名の参加。
2-3 JIA保存再生会議 近現代建築物緊急 調査ユニットWG	松島逸人	報告事項なし

3 JIAまちづくり会議	松島逸人	
報告事項なし		
4 JIA災害対策会議	林田直樹	添付資料 1、添付資料 2
12/4 第4回災害対策会議 1/7 能登半島沖地震緊急報告会 1/18 緊急勉強会「能登半島地震から復興を考える」 添付資料は能登地震関連資料です		
5 JIA建築相談連携会議	有吉兼次	
活動報告無		
5-2 JIA九州支部建築相談委員会：	有吉兼次	
12月13日から1月26日は下記の活動を行いました。 ○1月25日福岡 築3 5年2階建て木造住宅の不具合 住まわれている住宅が築3 5年で、床がぎしぎし音をたてたり、不具合も出ている。構造など問題ないのか等、相談したい。		
6 住宅等連携会議	佐々木寿久	
・12/20 住宅連携会議 ・1/10 住宅連携会議		
6-2 住宅等連携会議 (小規模事務所のBIM推進)	佐々木寿久	
・12/19 BIMセミナー		
6-3 住宅等連携会議(障害者の居住にも対応した住宅の設計ガイドラインに関する検討会)	佐々木寿久	
・3月に第3回検討会が行われる予定		
報告事項		
⑤ <その他>		
1 全国学生設計コンクール実行委員会 池浦順一郎		
1/17 実行委員会議		
2 職責委員会	松山将勝	
報告事項なし		
3 懲戒審査委員会	佐々木 信明	
報告事項なし		
懲戒		
⑥ <特別委員会> 活動報告		
1 オンライン_リモート対応や環境整備 に特化した特別委員会	村上明生	
報告事項なし		
2 カーボンニュートラル特別委員会		
カーボンニュートラル特別委員会は「JIA環境会議」に気候変動対応WGとして継続 担当者は福田展淳(ふくだひろあつ)氏		

支部事業委員会報告

教育支援委員会

1 建築塾WG	佐々木寿久	
報告事項なし		
2 デザインレビューWG	池浦順一郎	
12/19 実行委員会議・1/9 実行委員会議・1/23 実行委員会議		
3 DR高校生レポーターWG	重田 信爾	
現在募集要項の準備中です。		
4 建築家派遣（エコルサポート）	福田 哲也	
報告事項なし		

活動支援委員会

1 収益事業WG	川津 悠嗣	
報告事項なし		
2 JIAサポートWG	川津 悠嗣	
報告事項なし		
3 木活（モクカツ）WG	松島 逸人	
1/20 大人の寺子屋in東京大学		
4 25年賞WG	下山 道男	
報告事項なし		
5 九州建築新人賞WG	松山 将勝	
現地審査実施中		
6 ケンパイWG	田中康裕	
10 JIA建築家大会2024 別府	佐々木 信明	
・本日、第12回実行委員会開催 タイムスケジュール（大会マンスリー、28日、29日、30日のスケジュールの大きなフレームは、ほぼ決まりまして、各タスクでの検討が今日の実行委員会以降に本格的に始まります。 ・協賛金募集について、予算（収入、支出）についてなど細かな検討を進めているところです。 特に、協賛金募集については会員皆様のご協力を地域会代表幹事を中心に取りまとめて頂きたい。		

報告事項

③ <常設委員会> 活動報告

1 総務委員会	下山道男	苦情対応WG:川津悠嗣 知財WG:佐々木 信明
2/7 第7回委員会	・入退会審査	・近畿支部準会員・協力会員入会申込書改正案について
		・2024年4月1日付会員資格喪失について：九州支部では対象者なし
		・能登半島地震被災者の会費免除について
3/5 第8回委員会	・入退会審査	・2024年4月1日付会員資格喪失について
		・業務報酬基準特別委員会期間延長について
		・名譽会員選考委員会委員について
		・フェローメンバ推薦について
		・業務受託の事前手続きに関するガイドライン（案）、補助金・助成金の申請手続きに関するガイドライン（案）について
		・2024年度総務委員会構成について：九州支部福田会員に交替
		・能登半島地震被災者の会費免除について
苦情対応WG :	報告事項なし	
知財WG :	報告事項なし	
2 財務委員会	下山道男	
2/6 第4回委員会	・2023年度 JIA事業活動助成 採択審査（再）について	・2024年度本部予算について
	・今後の財務委員会活動について	・事業活動助成報告：北海道支部「北海道の建築 巡回展2023」
3/5 第5回委員会	・本部・支部・地域会合算予算案について	・2024年度財務委員会構成（案）について
	・事業活動助成報告について	・事業活動助成報告の未提出確認について：3月末が締め切り
3 職能・資格制度委員会	佐々木 信明	
2月7日合同委員会開催	：登録建築家新規登録・更新・再登録状況について、23年度委員会決算について、登録建築家制度検討に特別委員会設置要望の件、その他	
3月8日合同委員会開催	：シンポジウム報告のJIAマガジン掲載などの報告、特別委員会設置の理事会への提案とその後の段取りの報告、認定評議会関連協議	
4 業務委員会	前田哲	建賠WG:田中康裕
報告事項なし		
5 広報委員会	川津悠嗣	支部は川津悠嗣、有吉兼次
3/5・4/4 本部広報委員会web、4月中旬ブルテン発行予定		
6 教育委員会	田中康裕	
2月5日委員会開催	2月25, 26, 27日リフレッシュセミナー開催	3月10日フィールドトリップ開催
3月18日委員会開催		
7 国際委員会	水本浩二	
・2/16 第11回国際委員会		
(国外からの問い合わせ、2024年度委員会構成及び委員会日程ほか全4議題)		
・3/29 第12回国際委員会		
(国外からの問い合わせ、2024年度委員会構成、JIA別府大会ほか全14議題)		
8 CPD評議会	田中康裕	
3月1, 28日評議会開催 飲酒を伴う例会、災害時の罹災証明支援活動などについて協議		
9 建築家資格制度実務委員会	佐々木寿久	
・2月7日合同委員会開催	：登録建築家新規登録・更新・再登録状況について、23年度委員会決算について、登録建築家制度検討に特別委員会設置要望の件、その他	
	・3月8日合同委員会開催	：シンポジウム報告のJIAマガジン掲載などの報告、特別委員会設置の理事会への提案とその後の段取りの報告、認定評議会関連協議
	・3月18日 建築家認定評議会	

報告事項		
④ <全国会議> 活動報告		
1 JIA環境会議	古森弘一	気候変動対応WG:福田展淳
本部環境会議 1月11日 17:30-19:30、3月11日 18:00-20:00 出席 福田展淳氏：次年度より脱炭素社会推進会議-JIA担当となります		
2 JIA保存再生会議	柴田真秀	
1月24日、2月16日、3月25日リモート会議が開催されました 議題：能登地震における文化財ドクター派遣事業について		
2-2 JIA保存再生会議 文化財修復塾	田島正陽	添付資料 2枚
2023年度までの受講者用に用意した講座を修了した方が16名だった。最終回の3月9日は97名の出席があり修復塾の人気がうかがえた。2024年度からは新修復塾がスタート予定で理事会の承認待ち。九州支部から委員の交代が予定されている。		
2-3 JIA保存再生会議 近現代建築物緊急 調査ユニットWG	松島逸人	
報告事項なし		
3 JIAまちづくり会議	松島逸人	
2月22日 第8回会議を開催 ・各支部の、新年度のメンバー変更予定等の確認 ・来期の建築家大会における事業の意見交換 今期と同じように、プレイベントと、現地での一般市民との「まち歩き」の実現を目指す事になった		
4 JIA災害対策会議	林田直樹	
3月4日 第6回災害対策会議 第3回能登地震勉強会事前打ち合わせ 3月6日 第3回能登地震勉強会「直轄調査で浮かび上がる復興事業の青写真」		
5 JIA建築相談連携会議	有吉兼次	
報告事項なし		
5-2 JIA九州支部建築相談委員会：	有吉兼次	
1月27日から3月31日は下記の活動を行いました。 ○3月14日福岡 一般 新築半年、土台が濡れています現在、床を外して土台の木材をカットして木材を入れて補強中、このやり方で大丈夫なのか第3者の意見を伺いたい。 ○3月19日福岡 建築相談定例会と懇親会を開催		
6 住宅等連携会議	佐々木寿久	
・2月14日 住宅連携会議		
6-2 住宅等連携会議 (小規模事務所のBIM推進)	佐々木寿久	
報告事項なし		
6-3 住宅等連携会議(障害者の居住にも対応した住宅の設計ガイドラインに関する検討会)	佐々木寿久	
・3月28日 検討会実施 (WEB)		
報告事項		
⑤ <その他>		
1 全国学生設計コンクール実行委員会	池浦順一郎	
1/17実行委員会会議 2/20実行委員会会議 3/19実行委員会会議		
2 職責委員会	松山将勝	
報告事項なし		
3 懲戒審査委員会	佐々木 信明	
報告事項なし		
⑥ <特別委員会> 活動報告		
1 オンライン_リモート対応や環境整備 に特化した特別委員会	村上明生	
報告事項なし		
2 カーボンニュートラル特別委員会		
カーボンニュートラル特別委員会は「JIA環境会議」に気候変動対応WGとして継続 担当者は福田展淳(ふくだひろあつ)氏		

支部事業委員会報告

教育支援委員会

1 建築塾WG	佐々木寿久
報告事項無し	
2 デザインレビューWG	池浦順一郎
2/6実行委員会会議 2/10予選審査 2/20実行委員会会議 3/5実行委員会会議 3/9本選 3/10本選	
3 DR高校生レポーターWG	重田 信爾
2/19 募集開始、3/10 高校生レポーター実施（北福岡地域会より3名参加）、3/11感想レポート依頼	
4 建築家派遣（エコルサポート）	福田 哲也
報告事項なし	

活動支援委員会

1 収益事業WG	川津 悠嗣
報告事項なし	
2 JIAサポートWG	川津 悠嗣
報告事項なし	
3 木活（モクカツ）WG	松島 逸人
報告事項なし	
4 25年賞WG	下山 道男
報告事項なし	
5 九州建築新人賞WG	松山 将勝
1/29～3/3で10作品の現地審査終了 3/8最終審査会 3/22受賞者発表 4/13九州建築新人賞シンポジウム 5/25総会の懇親会にて授賞式	
6 ケンパイWG	田中康裕
報告事項なし	
7	
8	
9	
10 JIA建築家大会2024 別府	佐々木 信明
2月3日第12回実行委員会開催(集合) 2月21日第13回実行委員会開催(WEB) 3月1日ビーコンプラザ会場視察（参加17名（※統括とタスク長による現地視察）） 3月13日第13回実行委員会開催(WEB) 3月23日関東甲信越支部と 次年度大会について協議（WEB）（松山大会委員長、佐々木 信明企画企画タスク長） 3月25日 シンポジウム2「建築の未来」についてJIA・KITアーカイブス（上垣内伸一氏、鹿田健一郎氏）とWEB打合せ 4月6日第15回実行委員会(集合) ・メインシンポジウム基調講演者が重松象平氏に決まりました ・シンポジウム2「建築の未来」の開催場所がアートプラザに決定ました →ビーコンプラザまでの移動時間を考慮して開催時間を終了時間を調整しました ・協賛金関係書類：申込書はWEB申込とするため申込用紙にQRコードを記載しました	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	

報告事項

(3) <常設委員会> 活動報告

1 総務委員会	下山道男 苦情対応WG:川津悠嗣 知財WG:佐々木 信明	
	4/9 第9回委員会 ・入退会審査 ・関東甲信越支部準会員・協力会員入会申込書改正案について ・JIA文化財修復塾 規則(案)について ・2024年度 総務委員会構成 5/13 第10回委員会 ・入退会審査 ・準会員・協力会員入会申込書改正案について ・新資格制度を推進する特別委員会設置について ・2024年度委員会構成案について	
苦情対応WG :		報告事項なし
知財WG :		報告事項なし
2 財務委員会	下山道男	
	4/2 第6回委員会 ・災害対策積立資産運用規程改正案について ・災害ファンド拠出について ・JIA建築家大会2023東海in常滑 収支報告 ・事業活動助成報告について(活動報告未提出1件) ・講演時の講師の謝礼等について	
3 職能・資格制度委員会	佐々木 信明	
本年度(2023年度)の事業報告を委員会委員長より本部に提出(5月13日)		
4 業務委員会	前田哲 建陪WG:田中康裕	添付資料 1
全国業務委員会(2024年4月9日開催) ①新告示(8号)への見直し内容についての課題、経費率算定についての課題については、今後の実務運用上の気づきも含めて継続して情報収集・意見交換おこなっていく。(添付なし) ②四会設監約款契約書類等(安井建築設計事務所翻訳版)のJIA会員利用について(継続審議中)(添付:資料2) ※背景:大阪万博需要等から ③公共建築設計懇談会意見交換会(国土交通省官庁営繕部と建築3会の意見交換会)の開催概要報告(添付:資料3) ④省エネ基準適合見直しについて(添付:資料4/広報パンフ) ⑤4号特例見直しについて(添付:資料5/広報パンフ)"□		
5 広報委員会	川津悠嗣 支部は川津悠嗣、有吉兼次	
5/10本部広報委員会WEB、5月中旬にブルテン発行予		
6 教育委員会	田中康裕	
報告事項なし		
7 国際委員会	水本浩二	
"・4/18 第1回国際委員会 (2024年度委員会構成、ACYA/UIA Heritage委員について、JIA別府大会ほか全8議題) ・5/17 IAI(インドネシア建築家協会)若手建築家20名程来日、トークセッションに委員長ほか参加 ・5/24 第2回国際委員会"□		
8 CPD評議会	田中康裕	
4月25日 委員会開催		
9 建築家資格制度実務委員会	佐々木寿久	
報告事項なし		

報告事項

④ <全国会議> 活動報告

1 JIA環境会議	古森弘一	気候変動対応WG:福田展淳	
報告事項なし（環境会議・気候変動対応WG）			
2 JIA保存再生会議	柴田真秀		添付資料 2
4月23日リモート会議が開催されました。次第添付します。保存再生活動の各地域会からの報告をお願いします。 □			
2-2 JIA保存再生会議 文化財修復塾 田島正陽			
4月10日修復塾会議：2024年度計画について理事会へ報告した件など 5月7日2023年度塾修了者認定委員会（16名） 5月8日塾会議			
2-3 JIA保存再生会議 近現代建築物緊急	松島逸人		
報告事項なし			
3 JIAまちづくり会議	松島逸人		
報告事項なし			
4 JIA災害対策会議	林田直樹		
4/9 第7回災害対策会議 4/9能登半島地鎮第4回勉強会 5/13 第8回災害対策会議□			
5 JIA建築相談連携会議	有吉兼次		
上告事項なし			
5-2 JIA九州支部建築相談委員会：	有吉兼次		
4月2日から5月10日は下記の相談対応を行いました。 ○4月11日福岡 トラブル 隣接するタイルのビル解体、新築により建物ヒビ等の不具合 ○5月9日予定 福岡 トラブル家の瑕疵を見つけてほしい。リフォーム工事の不具合について、相談したい。			
6 住宅等連携会議	佐々木寿久		
・4/10 住宅連携会議 ・5/8 住宅連携会議			
6-2 住宅等連携会議 (小規模事務所のBIM推進)	佐々木寿久		添付資料 3
※BIMセミナー「アトリエ事務所のBIMを語る」5/29・6/5・6/12			
6-3 住宅等連携会議(障害者の居住にも対応した住宅の設計ガイドラインに関する検討会)	佐々木寿久		
報告事項無し			

報告事項

⑤ <その他>

1 全国学生設計コンクール実行委員会	池浦順一郎	
4/16実行委員会会議・5/15実行委員会会議□		
2 職責委員会	松山将勝	
報告事項なし		
3 懲戒審査委員会	佐々木 信明	
報告事項なし		

⑥ <特別委員会> 活動報告

1 オンラインリモート対応や環境整備に特化した特別委員会	村上明生	
報告事項なし		

支部事業委員会報告

教育支援委員会

1	建築塾WG	佐々木寿久
		報告事項無し
2	デザインレビューWG	池浦順一郎
		5/17実行委員会会議
3	DR高校生レポーターWG	重田 信爾
		報告事項なし
4	建築家派遣（エコルサポート）	福田 哲也
		報告事項なし

活動支援委員會

活動スケジュール

○1月

- 10日：建築家大会2024別府 実行委員会（WEB）
- 12日：第5回北福岡地域会役員会
- 12日：北九州市建築6団体新年賀詞交歓会
- 17日：北九州市建築6団体戸畠工業高校出前授業打ち合わせ

北九州市建築6団体新年賀詞交歓会

- 日時：令和6年1月12日
- 場所：ホテルクラウンパレス小倉 3階
- 参加：13名
- 報告事項
 - ・北九州市長・議長・局長・幹部や他団体との交流を行った。

セ

第5回北福岡地域会役員会

- 日時：令和6年1月12日
- 場所：ホテルクラウンパレス小倉 1階レヴァンド
- 参加：服巻、熊谷、三迫、高濱、杉野、戸村、金子、塩釜、後藤、中條
- 報告事項
 - ・日韓合同学生 WS 決算報告について
 - ・次回の日韓学生 WS 韓国開催に関して
 - ・2024年度事業計画案・予算案について
- 北福岡地域会 2024年度事業計画と2024年度新規会計予算作成フォームを説明した。事業計画と予算、特に「建築家大会2024別府 投入金として、2023・2024年度で40万円*2年返済する件」について、承認を得た。
- ・松岡会員退会について
- ・役員改選について



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

【会員集会及び新年会】

開催日：2024年1月12日（金）

開催場所：TOJIN館

参加者：3名

内容：2024年度事業計画、予算等協議

委員会等の組織協議

JIA全国大会2024別府の積立金及び参加要請



※会員集会終了後新年会

建築家 栗生明 講演会

12月1日に鹿児島大学稻盛会館にて開催された建築家、栗生明氏の講演会に参加いたしました。

題目は「祈りの空間」 主催は鹿児島大学、稻門建築鹿児島会、(JIA鹿児島地域会後援)

講演後の懇親会にも多くのJIA会員が参加し。栗生氏との懇親を深めました。

栗生氏は洗練された近代建築の人と思っていたら実は「祈り」の人と解り、からくり解説が興味深い講演会でした。

実物を見て咀嚼しておきたい作品ばかりでした。人柄も含め納得させられた、興味深いひと時でした。



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

鹿児島地域会12月度役員会

12月12日に地域会役員会を開催いたしました。出席人数は6名

会議後に懇親会にて今後に向けた意見交換を行いました。

■報告事項

□建築展、シネマ祭、KIRA交流、青森地域会交流、栗生明講演会開終了の御礼

□JIA建築家大会2024別府の支部実行委員会Web会議

6/26 7/24 8/10 8/30 10/11 11/1 11/22 12/6の8回開催（下山、宮崎、水本）

メインテーマ「建築の未来」 今後は各地域会からもスタッフを募集する。

各地域会より協賛金：鹿児島地域会からは20万×2=40万 余れば返金。

□10/14支部役員会（下山、宮崎、水本）

- ・JIA入会にあたっては各地域会で対面説明での承認を行う。
- ・次回ブルテン執筆 柴田、蓑田朋章及び建築塾報告 12/15〆切
- ・支部長漫遊記総括 来年2月予定（福岡）酒井、徳永、蓑田朋、木元、宮崎響
- ・25年賞 屋久杉自然館 建築選選出 現地審査は熊本2 福岡1（鯉坂、岩田、宮崎）

□11/9～11 JIA建築家大会2023 東海in常滑 参加（鯉坂、下山、酒井、水本、蓑田、宮崎）

- ・来年の別府大会開催での運営などを見据えた視察も行った。

□その他

- ・池田太一Jr会員（10/6付け本部承認）
- ・木元Jr会員 正会員への手続き準備中

■協議事項

□近々事業の確認

- ・2023/1/16 合同例会 OL（講師の手配）HM予約済 会費7000円
- ・2023/2～3月 JIA鹿児島会賞各大学との準備（水本）

□九州建築塾

- ・収支報告書、支部負担額20万+追加35万で支部長内諾済、12/16支部役員会にて協議決定。

inいぶすき

地域会負担額は3.7万程度の増の予定。

□韓国全羅北道建築士会（KIRA全北）国際交流・収支報告書作成完了（肥後）・報告書作成（全員で手分け）・総括（全員）

□来年度人事の件

■その他

□登録建築家更新 2023.11.1～2024.1.31まで

新規登録もJIA、HP確認の事。

□JSKA（鹿児島）との積極的な交流の打診あり

講演などの案内等。

以上



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

鹿児島地域会1月度役員会

1月16日に地域会合同例会に合わせ例会を開催いたしました。出席人数は15名

会議後にオープフレクチャー及び合同例会意見交換を行いました。

■報告事項

□2024/11/28（木）～30（金）開催のJIA建築家大会2024別府の支部実行委員会会議/タスク数10/委員数31名

□1/10 JIA建築家大会2024別府の支部実行委員会Web会議

- ・3/1現地視察予定・総務委員長（下山）・国際タスク長（水本）・協力会タスク長（宮崎）
- ・大会当日スタッフとして各地域会へ派遣要請・鹿児島は上記3名除きあと4名程度選抜 11/28・29の2日間
- ・企業、団体へ協賛金のお願い：鹿児島協力会に送付済（1.5万～20万）5万以上は大会HPバナーリンク

□12/16支部役員会（下山、宮崎、肥後、水本、志賀）

- ・支部長漫遊記総括討論会 2/17（土）福岡（対象者：酒井、徳永、蓑田朋、木元、宮崎響）

□乾久美子講演会 学会、鹿大主催 JIA後援 3/1（金）15：00～ 黎明館講堂

- ・JIA寄与金額2万円予定・詳細は後日フライヤー送付予定

□JIA災害対策会議からの報告

- ・能登半島地震への対応について 現段階は本部委員会、JIA北陸支部長と連絡中、近隣県へ応急危険度判定への支援要請あり。
- 今後は支部、委員会を通して鹿児島地域会にも何らかの要請があるかもしれない。
- ・来年の別府大会開催での運営などを見据えた視察も行った。

□その他

- ・第1回九州新人賞1次審査終了 応募42中10作品通過、鹿児島は小野良輔氏、平野公平氏2名通過
- ・木元Jr会員：正会員への手続き、支部を経て本部申請中

■協議事項

□JIA鹿児島会賞（水本・木元・宮崎響）

鹿児島大学審査 候補日 2月14日（水）～22日（木） 第一工科大学 鹿児島県立短期大学 を含め審査日程調整。

□2024/10/25開催 建築士会全国大会鹿児島大会への協賛、広告、ブース出展の件

□韓国全羅北道建築士会（KIRA全北）国際交流（下山、宇都、志賀、奥）・最終報告書作成中（全員で手分け）

□来年度役員改選の件・支部報告の関係で早めに実施するかの協議。別紙、立候補案内文書

□来年度事業計画の件・1/29までに地域会2024年度事業計画を支部に提出予定。新規や予算化しておきたい事業等があれば提案いただきたい。

□その他

- ・2024年度地域会総会日程、4/16（火）の予定。
- 又、日々の役員会、例会の日程決め。
- ・登録建築家更新 2023.11.1～2024.1.31まで
- 新規登録もJIA、HP確認の事。

以上



鹿児島地域会1月度 合同例会意見交換会

1月16日に1月度の合同例会、意見交換会を開催いたしました。意見交換会では、JIA会員、協力会、講師を含め参加者の交流を深め地域会事業への協力への感謝、今後のご協力依頼など活発で楽しい意見交換となりました。又、建築塾、KIRA交流、青森地域会交流の報告も画像を交えて報告いたしました。参加者30名



JIA鹿児島オープン・レクチャー

合同例会に合わせ第12回オープン・レクチャーを開催しました。

今回は第一工科大学の堀口教授に、ご登壇いただき「映画と建築」と題して講演していただきました。

参加者からは非常に面白く、映画の見方が変わったなどの意見もあり大変好評でした。

参加者はJIA会員学生や一般の方40名でZoom配信も行いました。



主催 公益社団法人 日本建築家協会鹿児島地域会



北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

■ 2023年度JIA長崎地域会 例会

- 日時 2021年3月1日(金) 16:00~17:00
- 出席 出席者11名

- 1、次年度総会（予算）について
- 2、次年度地域会役員の選定について
- 3、JIA全国大会（九州別府）について

■ 長崎建築家セミナー2023

- 日時 2024年3月1日（金） 17:00~18:30
- 出席 30名

壁画家 松井エイコ先生

「壁画の世界と建築空間」

壁画とは？作品にこめたものは？建築にどのように生きるのかを
壁画家の松井エイコさんに語っていただきました。

長崎新聞2024.03.05掲載



■ 地域会役員会

- 日時 2024年2月21日（水） 13:30~14:30
- 出席 4名

- 日時 2024年3月14日（木） 13:00~14:00
- 出席 5名





北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

八代市厚生会館 保存活用に関する要望書提出

■日時：令和5(2023)年12月27日(水)

■場所：八代市役所

■参加人数：松山支部長+地域会4名



熊本地域会月例会（第8回）・新年会

■日時：令和6(2024)年1月25日(木)18:30-21:00

■場所：菜なみづき（熊本市）

■参加人数：8名

1.審議事項、協議事項

1-1：来年度予算と担当案 役員案

→添付案にて仮決定 2月例会で確定

1-2：人吉研修の提案（松下さんより）

→旅館と日程調整の上 林田から案内して日程の確定

1-3：建築士会 理事の選出 選考委員の選出

→次期理事は次期会長の吉永に決定

→選考委員は梅田

1-4：全国大会エクスカーション担当の件

→長野にて担当、大分の竹宮さんからのメールを確認

して日程と費用を精査する

2.報告事項

2-1：全国大会について 協賛金の案内

→趣意書等ができたので、協力して協賛金を集めます。

支部目標300万、各地域会で50万程度

2-2：25年賞について

→パークドームが25年賞を受賞

県営保田塙第一団地は落選

2-3：災害関係について

→林田から能登地震の現況の報告

2-4：八代厚生会館報告について

→昨年末に支部長名にて要望書を提出

3.CPD なし

4.閉会 21:00



熊本地域会月例会（第9回）

■日時：令和6(2024)年2月22日(木)18:30-20:00

■場所：熊本市国際交流会館

■参加人数：11名

1.審議事項、協議事項

1-1：来年度予算と担当案 役員案 （総会資料）

→添付資料で決定

1-2：人吉研修の提案

→添付スケジュールで開催予定 訪問依頼書を作成する

2.報告事項

2-1：全国大会について 協賛金の案内

→熊本の建材屋等と確認評価機関を調べて提出

協賛金として有志にて会員負担で50万を確保目標

2-2：25年賞について

→パークドームが25年賞を受賞

2-3：災害関係について

→能登地震の報告

2-4：八代厚生会館報告について

→有志の会にて4/20に利用案を林田、吉永にて提案予定

その他飛び入り参加OK

2-5：建築士会 理事の選出 選考委員の選出

理事→吉永 選考委員→梅田を選出

3.CPD なし

4.閉会 20:00

地域会総会（予定）

■日時：令和6(2024)年3月28日(木)18:30～

■場所：熊本市国際交流会館3階研修室3

鹿児島大学後期合同講評会・北山恒講演会

2月16日に鹿児島大学にて開催された鹿児島大学後期合同講評会・北山恒講演会に参加いたしました。

主催は鹿児島大学、(JIA鹿児島地域会後援)
卒業設計講評会と合わせJIA鹿児島会賞審査も同時に
講評後に建築家 北山恒氏の講演会が行われました。

題目は「都市にムラはつくれるか」

JIA地域会参加者は9名



鹿児島大学工学部建築学PG

卒業設計

計講評会

2024. 2. 16. Fri

講評会
13:00 ~ 15:45
@2階設図室

北山恒講演会
「都市にムラはつくれるか」
16:00 ~ 17:30
@01教室

座談会 (北山恒+学生)
17:30 ~ 18:30
@2階設図室

ゲストクリティーク
北山恒 (建築家)
Koh Kitayama
略歴
1956年生まれ。横浜国大大学院修士課程修了。1978年
ワーキングオーフィス（東京上野）、1986年Arcaditecure
ワーキングオーフィス（東京、2001～2018年、福岡県立大学大学院
准教授より2018年）勤務。2016～2021年福岡市立大学教授。
2021年退職。福岡市立大学准教授、同時にタトワーク福岡代表。22。
現在、福岡国際大学准教授、筑波大学客員教授。23.0
年。第1回「アーティスト・ビューライブ」国際音楽祭コンク
シヨナ、代表作「奥の國の宿泊施設『伝天寺の宿泊施
設』」INTERIOR など、受賞歴に日本建築学会賞、
ACASIA建築賞ゴールド賞、日本建築学会作品賞、B
本建築賞最優秀賞など、主な受賞に「THE SITE STRATEGY
(UTP出版)」、「TOKYO
METROPOLIS (UTP出版)」、「
TOKYO
REVIEW (幻冬舎)」、「モリスームの構造」(小川山社)など。
「京都都市計画アソシエーション」(奥田社)など。



第一工大堀口教授最終講義

2月19日に第一工科大学にて堀口教授の最終講義が開催されました。堀口教授はオープンレクチャーの講師を2回も引き受けてくださいり、JIA活動にも大変ご尽力いただきましたが、来年度より大阪の大学に転任される事となり、最終の記念講義となりました。講義は竹中工務店設計部時代からの自らの経験談、建築への取り組み姿勢、考え方など学生へのエールを含めた内容でした。JIA地域会参加者は9名



第63回 日本建築学会九州支部 日韓国際交流講演会 第一部

【講演者】南 海鯨（ナム・ヘギョン）全北大学名誉教授

（助手）金 由羅（キム・ユラ）中部大学専任講師

【日時】令和6年3月1日（金）

【会場】鹿児島県歴史・美術センター 黎明館（講堂）

【日韓出席者】全100名以上 鹿児島地域会（8名）

【再会あいさつ】 開会前に南教授との再会を祝し挨拶（宇都）

題目：「全州韓屋村における韓屋の近代性」

- ・大韓民国全羅北道全州市の紹介、韓屋村の歴史と近年の保存活動と成果について
- ・全北大学に伝統建築を専攻するサテライトキャンパスを設置して貰った経緯について
- ・大韓民国農村建築学会会長として日本建築学会の農村計画委員会との国際交流活動について



講演会の様子



ナム・ヘギョン先生

第63回 日本建築学会九州支部 日韓国際交流講演会 第二部

記念講演会・日韓国際交流講演会（JIA鹿児島地域会後援事業）

【日時】令和6年3月1日（金） 【講演者】乾久美子 【会場】鹿児島県歴史・美術センター 黎明館（講堂）

日本建築学会九州支部と鹿児島大学は共同で記念講演会と日韓国際交流講演会を開催した。

後援は鹿児島県建築協会、鹿児島県建築士事務所協会、鹿児島県建築士会、JIA鹿児島地域会、に関わる人たちが集まり盛会となった。

第2部は、横浜国立大学教授で建築設計事務所主催をされている乾久美子氏による講演である。

乾氏は「小さな風景と建築」と題して、永きに渡り自ら取り組んできた「コモンズ」をテーマに話された。

「コモンズ」とは昔からある井戸や里山的なもので、publicとprivateの間にあり建築だけでは生まれ得ないコミュニティや人のつながりなど大きな可能性を持つものである。

また意図的に様々な資源をコモンズ化してゆく「コモニング」を説明され、例えば公共空間に仮説的に造られたテントなど、

仮説的に造られたテントなど、臨時に発生する道路で行われる市場などを挙げられ、視聴者は道路で行われる市場などを挙げられ、視聴者は興味深く真剣に聞き入っていた。



講演後は、鍛冶屋町の杜公園内black Smithで

懇親会が開かれナム先生と乾先生を囲み活発な
話が交わされた。

非常に貴重な話を拝聴する事が

出来て有意義な講演会であった。

鹿児島地域会から5名が参加



鹿児島地域会3月度役員会

3月12日に地域会役員会を開催いたしました。参加人数は9名

会議後に懇親会にて今後に向けた意見交換を行いました。

■協議事項

□来年度地域会人事案の承認

- ・地域会役員改選の代表は立候補者無し、他薦1名にて地域会代表は鯉坂氏でよろしいか。
- ・会計まとめの専門家外注の協議。（将来に向け及びインボイス含め経理の専門性）費用の問題協議。

□来年度地域会事業及び日程協議（別紙）

- ・新規事業及び事業削減等。
- ・来年度JIA鹿児島会賞の審査方法時期の検討
- ・新規事業及び事業削減等。
- ・来年度JIA鹿児島会賞の審査方法時期の検討

□JIA鹿児島会賞の受賞者決定協議

■報告事項

□JIA建築家大会2024別府の支部実行委員会 13回開催（下山、宮崎、水本）

□2/3支部役員会（宮崎、肥後、水本、志賀）

- ・3/1別府ビーコンプラザ現地視察 会場割り振り、備品その他確認等
- ・来年度事業計画及び予算案協議。・能登半島震災復興支援状況。

今後の事業等の確定日

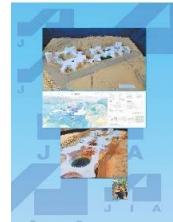
- ・3/13（水） 2024建築家大会委員会（Web）
- ・4/16（火） 地域会総会（ホテルマイステイズ予約済、OL講師手配、フライヤー作成）
- ・5/25（土） 支部総会、佐藤会長参加予定。
- ・6/22（土） 鹿大前期合同講評会（後期は無し）
- ・9/1（日）～9/3（火） 青森地域会交流（鹿児島開催）
- ・10/24（木）～10/26（土） 建築士会全国大会（鹿児島）
- ・11/28（木）～11/30（土） JIA建築家大会（大分別府） 以上



JIA鹿児島会賞審査 2/16、3/6、3/9

鹿児島地域会では毎年県内建築系大学・短大・専門学校の卒業設計に対し、地域会で独自に設けたJIA鹿児島会賞を設けて表彰を行っています。

本年は鹿児島大学、第一工科大学、県立短大、鹿児島高専の卒業設計に対し、鹿児島地域会会員による審査を行い、金賞×1、銀賞×1、銅賞×3、奨励賞×1の計6作品を選定し表彰いたしました。



金賞状

金賞



金賞作品



銀賞作品



審査状況

JIA九州支部北福岡地域会 2024年度 活動報告(4月～6月)その1



北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

活動スケジュール

○4月

- 6日:九州支部第1回役員会
 - 16日:北福岡地域会役員会・監査
 - 18日:日韓学生WS 藤原徹平氏打ち合わせ
 - 18日:福岡県建築士事務所協会北九州支部総会懇親会
 - 19日:北九州建築6団体役員会
 - 22日:日韓学生WS海法圭氏打ち合わせ
 - 26日:北福岡地域会第37回通常総会
- 5月
- 9日:日韓学生WS第1回実行委員会
 - 21日:すこやか住宅推進協議会理事会
 - 25日:九州支部第1回役員会・九州支部第37回通常総会
 - 30日:すこやか住宅推進協議会総会懇親会

北福岡地域会第37回通常総会懇親会

■日時：令和6年4月26日金曜日18:00～19:45

■場所：ホテルクラウンパレス小倉

■参加：29名

■主な報告事項

- ・対面開催
- ・北九州市都市戦略局指導部長他1名、建築6団体代表、建賛会代表他3名出席



北福岡地域会第37回通常総会

■日時：令和6年4月26日金曜日16:00-16:45

■場所：ホテルクラウンパレス小倉

■参加：17名

■報告事項

- ・当会員数41名中、出席者17名、委任状13名の計30名にて総会成立
- ・2023年度事業報告、収支決算、監査報告、役員改選に関する件、審議し満場一致で承認を得た

日韓学生WS第1回実行委員会

■日時：令和6年5月9日木曜日9:00～10:20

■場所：ZOOM

■参加：藤原徹平、海法圭、洪教授（韓国）

JIA後藤、中條、杉野、塩釜

■主な報告事項

○韓国開催の確認

○釜山大学後援による、「衰退都市の遊休空間を活用した生活」という課題の詳細を洪教授から説明（西面地区、釜田図書館リノベ）

北福岡地域会第37回会員集会

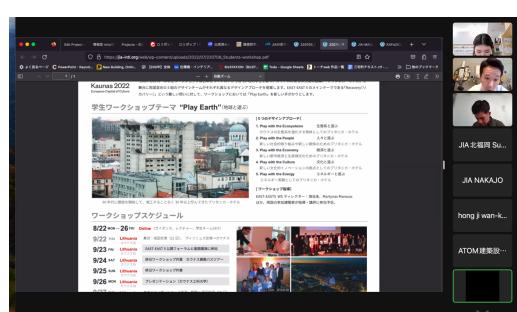
■日時：令和6年4月26日金曜日17:00-17:45

■場所：ホテルクラウンパレス小倉

■参加：17名、佐々木寿久副支部長

■報告事項

- 次期九州支部長の立場から見えるJIAの展望を語って頂いた、温かい雰囲気の会員集会となり、有意義な集会となった





北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

2月公開例会 「ゆるやかに組む/やわらかく考える」

■SALHAUS 安原 幹氏に「ゆるやかに組む/やわらかく考える」をテーマにお話いただいた。SALHAUSは、山本理顕設計工場出身の3名によって設立された建築設計事務所です。代表の安原 幹氏は、公共建築への挑戦と高いプロポーザル勝率で注目を集めています。

アトリエ系ながら公共建築に積極的に挑戦する理由やプロポーザルでも高い勝率を誇るサルハウスの仕事術、山本理顕設計工場での経験が与えた影響など示唆に富んだお話をいただきました。

講師：SALHAUS 安原 幹

日時：2024年2月19日（月曜日） 18:00～20:00

会場：F.Tビル 3階

参加人数：60名



会場の様子



会場の様子



2月19日（月）18:00～20:00

F.Tビル 3階

会場：福岡市中央区渡辺通4丁目8-28

【講師】安原 幹
（SALHAUS）
1972 大阪府生まれ
1996 東京大学大学院建築学科卒業
1998 同大学修士課程研究科建築学専攻修了
1998～2001 山本理顕設計工場
2008 SALHAUS設立 共同主宰
2011～2018 東京理科大学大学院建築工学科准教授
2018～ 筑波大学大学院工学系研究科建築工学専攻准教授

【会場】F.Tビル 3階
福岡市中央区渡辺通4丁目8-28

【会員料】定員 80名 | 申込締切 2/15(火)

【会員登録】JIA会員登録

</

福岡地域会役員会（第7回）

- 日時：2024年1月12日（土曜日）17:00～18:30
- 場所：JIA九州支部事務局
- 参加人数：出席者 9名・委任状 7名
- 第6回役員会議事録確認
- 審議事項
 - 1.入退会について 2..来年度予算について 3. 2024年度事業計画（案）
- 協議事項
 - 1.役員選出基準細則について
- 報告事項 1. 会長報告 2. 九州支部長報告 3. 事業室報告
- 4.企画運営室報告5.その他



第5回福岡地域会役員会の様子

福岡地域会役員会（第8回）

- 日時：2024年2月24日（土曜日）17:00～18:30
- 場所：JIA九州支部事務局
- 参加人数：出席者 9名・委任状 4名
- 第7回役員会議事録確認
- 審議事項
 - 1.入退会について 2..次期地域会長の承認 3. 建築相談員交通費について
- 協議事項
 - 1.来年度事業計画について 2. JIA建築家大会2024別府 協賛リストについて 3.まちと建築展の展示備品保管について 4.今後の役員会資料の配布方法について 5.講演依頼について
- 報告事項 1. 会長報告 2. 九州支部長報告 3. 事業室報告
- 4.企画運営室報告5.その他

福岡地域会役員会（第9回）

- 日時：2024年3月30日（土曜日）17:00～18:30
- 場所：JIA九州支部事務局
- 参加人数：出席者 8名・委任状 6名
- 第8回役員会議事録確認
- 審議事項
 - 1.入退会について 2.2023年度決算について 3. 総会資料について
- 協議事項
 - 1.来年度事業計画について 2.資格制度のこれからを考える 4月会員集会について
- 報告事項 1. 会長報告 2. 九州支部長報告 3. 事業室報告
- 4.企画運営室報告5.その他

建築相談室

- 1月27日から3月31日は下記の活動を行いました。
- 3月14日福岡 一般 新築半年、土台が濡れていて現在、床を外して土台の木材をカットして木材を入れて補強中、このやり方で大丈夫なのか第3者の意見を伺いたい。
 - 3月19日福岡 建築相談定例会と懇親会を開催
建築相談室定例報告会6名（酒見、井上、樋口、高司、豊田、有吉）参加 お疲れ様会6名参加



建築相談定例会報告会の様子

■第37回長崎地域会通常総会

- 日時：2024年4月12日（金）
- 場所：グローバルビュー長崎
- 出席者数 正会員14名（委任状2）協力会員9名で総会成立
- 懇親会 正会員14名 協力会員12名



●長崎地域会としては5年ぶりの対面開催

- ・旧体制から事業報告が行われ承認された
- ・役員改選が行われ承認された
- ・新体制から事業計画及び予算案が上程され、審議を経て承認された



●議長選出：正会員の有馬一郎氏を議長に選出



●懇親会には佐々木寿久副支部長にご出席いただきました

■長崎地域会第1回執行役員会

日時：2024年5月2日（木）15:00～16:30

場所：リモート開催



●今年度の事業計画と第1回例会、技術セミナーについて

- ・協力会員様による技術セミナーの運用方針について協議
- ・協力会員様の取りまとめ役として西部ガス長崎の山川氏にご参加いただきました

JIA九州支部各地域会 2024年度 活動報告

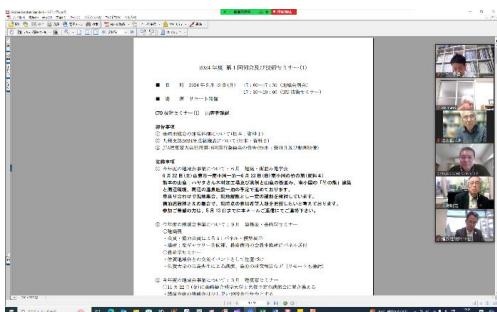


北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

■長崎地域会第1回例会・技術セミナー

日時：2024年5月13日（木）17:00～19:00

場所：リモート開催



●第1回執行役員会の協議結果報告

- ・協力会員様による技術セミナーの運用方針について報告
 - ・九州支部の体制について報告



- ・別府建築家大会の実行委員会内容について報告
 - ・別府建築家大会のPR動画の最新版を紹介
 - ・JIAマガジン掲載予定の誌面を紹介

●令和6年度の事業内容を協議

- ・6月の建築、街並み見学研修会は熊本の山鹿と南小国で計画
 - ・11月の建築展、長崎学セミナーを楽ギヤラリーで開催計画



「喜界町環境循環型複合施設基本設計プロジェクト」

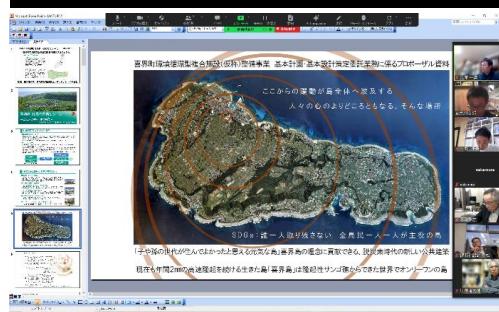
■宮界島の位置・面積・地勢

- ・**鹿児島の位置と面積**
鹿児島市は、鹿児島県と大隅半島の間に連なる鹿児島海峡で、最も北東部に位置する離島です。
奄美大島と本島の玄界島、北緯28度20分、東經130度00分のあたりにあり、鹿児島県から368km、奄美大島から鷲羽離島まで24kmの海上に位置します。
面積は56.82km²で、約40%にあたる22.5km²が海、約19%の10.76km²が森地となっています。

- ・喜界島の地勢
喜界島は東西南北から北東に横に約14km、東西の島長が約4.6kmであります。
- ・集落は海岸線に沿って開拓し各集落の背部は農耕地り、奥山から内陸に向むる日本古来山脈となつていて雄しく山岳地帯であり、河川といふ意味の川ではなく、同じ半洋では「源流」などとなつてあります。
- ・喜界島のソウジゴの年較速度は平均的2mmであり世界有数の速さを誇ります。



発表：長崎地域会 有限会社 瞳設計コンサルタント 松本隆之



●第1回 会員による技術セミナー

- #### ・鹿児島県大島郡喜界町のプロジェクトを紹介



- ・参加者による質疑応答と意見交換
 - ・実施設計に向けて有益なアドバイスやご意見を頂きました

北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

2023 建築セミナー実行委員会 第4回

日時：1月20日 土曜日 10:00～11:30

場所：エンクロス 2F

参加人数：6名

議案

□会場設営関係

- ・椅子等の移動、レイアウト変更について

- ・会場内の掲示物等について

- ・必要器材について

- ・各会会旗の掲示について

- ・駐車場の利用について

□セミナー内容、進行関係

- ・進行担当の決定

- ・各挨拶担当の決定

- ・質疑応答の方法の決定

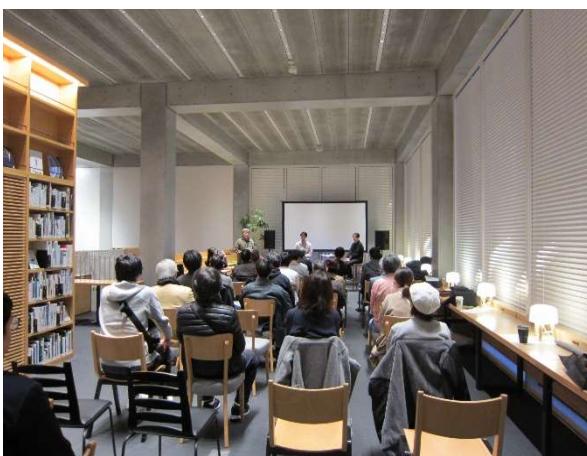
- ・必要備品類の確認

- ・休憩時間の確認

□セミナー終了後の確認

- ・講演会終了後の懇親会の確認

- ・翌日の講師アテンドの確認



JIA九州支部北福岡地域会 2024年度 活動報告(4月～6月)その1



北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

活動スケジュール

○4月

6日:九州支部第1回役員会

16日:北福岡地域会役員会・監査

18日:日韓学生WS 藤原徹平氏打ち合わせ

18日:福岡県建築士事務所協会北九州支部総会懇親会

19日:北九州建築6団体役員会

22日:日韓学生WS海法圭氏打ち合わせ

26日: 北福岡地域会第37回通常総会

○5月

9日 : 日韓学生WS第 1 回実行委員会

21日 : すこやか住宅推進協議会理事会

25日 : 九州支部第1回役員会・九州支部第37回通常総会

30日 : すこやか住宅推進協議会総会懇親会.

31日 : 第一回例会



北福岡地域会第37回通常総会

■日時 : 令和6年4月26日金曜日16:00-16:45

■場所 : ホテルクラウンパレス小倉

■参加 : 17名

■報告事項

- ・当会員数41名中、出席者17名、委任状13名の計30名にて総会成立
- ・2023年度事業報告、収支決算、監査報告、役員改選に関する件、審議し満場一致で承認を得た

日韓学生WS第 1 回実行委員会

■日時 : 令和6年5月9日木曜日9:00～10:20

■場所 : ZOOM

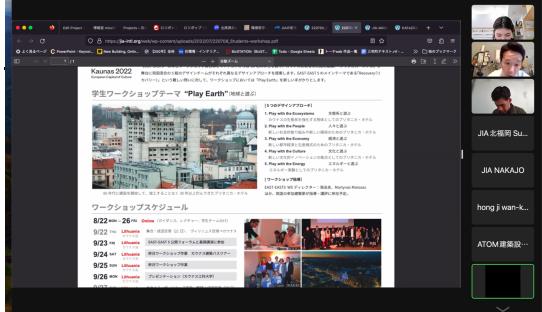
■参加 : 藤原徹平、海法圭、洪教授（韓国）

JIA後藤、中條、杉野、塩釜

■主な報告事項

○韓国開催の確認

○釜山大学後援による、「衰退都市の遊休空間を活用した生活」という課題の詳細を洪教授から説明（西面地区、釜田図書館リノベ）



北福岡地域会第37回会員集会

■日時 : 令和6年4月26日金曜日17:00-17:45

■場所 : ホテルクラウンパレス小倉

■参加 : 17名、佐々木寿久副支部長

■報告事項

- 次期九州支部長の立場から見えるJIAの展望を語って頂いた、温かい雰囲気の会員集会となり、有意義な集会となった

北福岡地域会第37回通常総会懇親会

■日時 : 令和6年4月26日金曜日18:00～19:45

■場所 : ホテルクラウンパレス小倉

■参加 : 29名

■主な報告事項

- ・対面開催
- ・北九州市都市戦略局指導部長他1名、建築6団体代表、建賛会代表3名出席

北福岡地域会第1回例会

■日時 : 令和6年5月31日金曜日17:00～18:30

■場所 : 密密基地

■参加 : 11名

■主な報告事項

- ・加藤会員のPCα + S工法の勉強会を開催



JIA九州支部北福岡地域会 2024年度 活動報告(4月～6月)その2



北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

活動スケジュール

○6月

- 5日:JIA25年建築選「陶板レリーフ」お届け
- 5日:建築家大会2024別府 実行委員会（WEB）
- 8~9日:東京ツアーソ藤原徹平氏・海法圭氏打ち合わせ
- 14日:福岡県建築士事務所協会北九州支部総会懇親会
- 26日:建築家大会2024別府 実行委員会（WEB）

東京ツアーソ藤原徹平氏・海法圭氏打ち合わせ

- 日時：令和6年6月8～9日
- 場所：東京
- 参加：高濱副会長・杉野幹事・後藤幹事・安東会員・小原会員・小嶋会員（宮崎地域会）・塩金
- 主な報告事項
 - ・日韓学生WSの講師の藤原徹平氏・海法圭氏と課題について協議
 - ・藤原徹平氏の代々木テラスを建築家 針谷将史（ハサカ イサズ）氏・藤原事務所 亀井氏に案内頂いた、星美ホーム本園を視察
 - ・海法圭氏に「タカオネ」を案内頂いた

JIA25年建築選「陶板レリーフ」お届け

- 日時：令和6年6月5日水曜日16:00-16:45
- 場所：ソウルゲイン・ドーム・ノトルダム仙水町修道院
- 参加：浅田会員・三迫相談役・塩金
- 報告事項
 - ・JIA25年建築選「陶板レリーフ」をお届けした。シスターはとても喜ばれた様子



JIA九州支部北福岡地域会 2024年度 活動報告(4月～6月)その2



北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

活動スケジュール

- 6月
 5日:JIA25年建築選「陶板レリーフ」お届け
 5日:建築家大会2024別府 実行委員会（WEB）
 8~9日:東京ツアー藤原徹平氏・海法圭氏打ち合わせ
 14日:福岡県建築士事務所協会北九州支部総会懇親会
 26日:建築家大会2024別府 実行委員会（WEB）

東京ツアー藤原徹平氏・海法圭氏打ち合わせ

- 日時：令和6年6月8～9日
- 場所：東京
- 参加：高濱副会長・杉野幹事・後藤幹事・安東会員・小原会員・小嶋会員（宮崎地域会）・塩釜
- 主な報告事項
 - ・日韓学生WSの講師の藤原徹平氏・海法圭氏と課題について協議
 - ・藤原徹平氏の代々木テラスを建築家 針谷将史（ハリガ イマサミ）氏・藤原事務所 亀井氏に案内頂いた、星美ホーム本園を視察
 - ・海法圭氏に「タカオネ」を案内頂いた

JIA25年建築選「陶板レリーフ」お届け

- 日時：令和6年6月5日水曜日16:00-16:45
- 場所：コング レガ オン・ド・ノートルダム仙水町修道院
- 参加：浅田会員・三迫相談役・塩釜
- 報告事項
 - ・JIA25年建築選「陶板レリーフ」をお届けした。シスターはとても喜ばれた様子



JIA九州支部各地域会 2024年4月～6月 活動報告

北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島



福岡地域会第37回通常総会

- 日時：2024年5月24日（土）10時30分～11時30分
- 場所：電気ビル共創館 カンファレンスA
- 参加人数：総会出席者数は、20名、書面評決27名、委任状によるもの11名、合計58名
- 議案
 - 議案第1号 2023年度事業報告書承認の件
 - 議案第2号 2023年度収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録承認の件
 - 監査報告
 - 議案第3号 新役員選任の件
 - 報告
 - 報告第1号 2024年度事業計画書報告の件
 - 報告第2号 2024度収支予算書報告の件
 - 感謝盾の贈呈
- 福田哲也前地域会長に感謝盾を贈呈。
- 前地域会長挨拶 会員の皆さんとの会合が何より楽しかった支部に移りますがよろしくお願いしますとの謝辞を述べる。
- 新地域会長挨拶
- 建築展の開催やコロナ禍での活動が心に残っている。会員になって10年、これまでの地域会を引き継いでさらにアップデートできるよう活動していく。

福岡地域会役員会（第1回）

- 日時：2024年5月24日（土曜日）9:15～9:55
- 場所：電気ビル共創館 3F カンファレンスA
- 参加人数：16名
- 第9回役員会議事録確認
- 審議事項
 - 異動会員2名、協力会入会1社の紹介
 - 協議事項
 - 通常総会について
 - 総会進行・役割確認
 - 2024年度JIA九州支部福岡地域会役員会開催日程
 - 報告事項 1. 会長報告 2. 九州支部長報告 3. 事業室報告
 - 企画運営室報告
 - その他

建築相談

- 5月1日から6月30日は下記の相談対応を行いました。
- 5月9日福岡 トラブル 住宅リフォーム（耐震含む）の不具合についての相談
 - 6月13日福岡 トラブル 所有マンションの隣地における杭、基礎工事に伴う土砂流入についての相談（担当 豊田宏二）

6月例会

- 2024年6月19日・20日
- マリンメッセ福岡B
- 参加者数 各講演70名から90名
- 6月の福岡地域会例会
 - 6月19（水）、20日（木） 6月例会 九州ホームアンドビルディングショー（九州支部共催）にて福岡地域会会員4名が登壇し、講演会が開催されました。
- 6月19日水曜日
 - 13:45～ 二宮 隆史氏 建築と素材～鳥飼八幡宮 式年遷宮を事例として～
 - 14:50～智原 聖治氏 人々を柔らかく包み込む空間とは～木造木質化建築の実践を通して～
- 6月20日木曜日
 - 13:45～ 野原 啓司氏 公共建築と木質化
 - 14:50～百枝 優氏 気配をつかまえる



フライヤー



会場の様子

JIA九州支部各地域会 2024年4月～6月 活動報告



北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

九州支部・福岡地域会 合同懇親会

■九州支部・福岡地域会 合同懇親会

日時：2024年5月25日（土）18：00～

会場：八仙閣

参加者 福岡地域会正会員準会員19名、協力会39名 合計58名
(支部全体では82名)
支部・福岡地域会の通常総会、会員集会終了後、九州支部・福岡地域会合同懇親会が開催されました。今年は九州建築新人賞の授賞式も同時に開催されました。JIA建築家大会2024別府のPVの上映、実行委員の挨拶、新旧地域会長挨拶があり、盛りたくさんのお話となりました。全国大会のテーマや内容が紹介され、参加者の期待が高まり、旧地域会長からはこれまでの活動の振り返り感謝を述べられ、新地域会長からは今後の活動への抱負が述べられました。新年度にむけ、皆の交流ができ、結束が高まったと感じる有意義な時間となりました。



九州支部・福岡地域会 合同懇親会の様子

福岡地域会協力会総会・懇親会

■福岡地域会協力会総会・懇親会

日時：2024年6月24日（月）18：30～

会場：八仙閣

参加者 72名(協力会52名・JIA会員20名)

約半数の協力会会員が参加し、正会員も昨年度より参加が増え、協力会総会・懇親会が開催されました。総会では、昨年度の会計報告と今年度の事業計画が報告され、西井会長からは、今年度九州で開催される建築家大会への参加と協力を呼びかける挨拶がありました。建築家大会について、松山実行委員長、福田副実行委員長、有吉地域会長から詳細な案内があり、協力会ブースへの参加や協賛金のお願いもありました。懇親会では、各テーブルで、協力会会員と正会員が交流を深めました。余興には北村姉妹による津軽三味線演奏が披露され、参加者は皆、真剣に演奏に聞き入りました。今回の総会・懇親会を通して、協力会と地域会の強いつながりを改めて実感することができました。



協力会総会懇親会の様子



新旧地域会長の挨拶の様子



津軽三味線北村姉妹演奏の様子

2024年度 技術セミナー(2) 街並み・建築見学会

- 日時：2024年6月22日（土）、23日（日）
- 場所：熊本県山鹿市、南小国町
- 出席者数 1日目7名（欠席1）、2日目5名（欠席2）
- 目的 ①脱炭素建築モデルとしての公共木造建築見学と木材供給現場の現状観察
②地域材を活用した良質な建築空間に触れると同時にそのパッケージヤードを考察する
③会員相互の交流を深め、親睦を図る

2019年10月の長崎県松浦市訪問以来、5年ぶりの街並み・建築見学会を開催しました。1日目は山鹿市の工芸社ハヤタ（長崎地域会協力会員様）での実地研修、和水町三加和小学校視察、山鹿伝統的街並み視察のあと懇親会、2日目は南小国町の竹の熊視察を行いました。（担当：松本隆之）
 ・工芸社ハヤタ実地研修
 山鹿市鹿北町の事務所では、主力製品であるBP材や地域材を活用したフローリングなどの説明について片峯専務の座学を受講しました。工場に移動してBP材の原木から接着～プレス加工～仕上げの過程を見せていただきました。



事務所にてBP材の基礎知識と地域材活用について受講



工場にてBP材の製造過程を視察



・和水町三加和小学校視察
 和水町役場教育委員会の担当職員から説明を受け、木造小学校の校舎及び体育館を見学しました。設計：NNSHJV野沢正光・中村亨一・柴田真秀・東大森裕子



校舎内の音楽室：一般製材とBP材併用の教室構成
 正面の壁は製剤をプレス接着したパネルログと同等の仕様



BP材を束ねた方杖型アーチの連続による木造架構の体育馆
 屋根アーチは部位によって勾配寸法がすべて異なっており、大工による正確な墨付けと手刻みの加工技術により実現させている。
 写真や図面資料で見る以上に、木質感があふれ木の塊の中にいる心地よい感覚だったが、換気計画に多少の難があり夏季の暑さを指摘されています。

・昼食風景

山鹿市近郊の平山温泉にある三蔵で地鶏の天草大王を堪能しました。



・山鹿市中心部旧街道沿いの歴史的町並み散策

米米惣門ツアーと銘打った現地各店舗のボランティアガイドによる有料ツアーを体験しました。



旧街道沿いの米にまつわる4店舗で山鹿の歴史と街並みの関りを学びました。1件目：米麹製造所の木屋



旧街道沿いの米にまつわる4店舗で山鹿の歴史と街並みの関りを学びました。2件目：日本酒の酒蔵の千代の園酒造



旧街道沿いの米にまつわる4店舗で山鹿の歴史と街並みの関りを学びました。3件目：一切経をおさめた経蔵のある光専寺



山鹿市で観光の目玉となっている八千代座
旧豊前街道沿いにある国重要文化財指定の芝居小屋です。回り舞台や奈落の内部も見学可能で、現在も定期的な歌舞伎講演も開催されています。

・宿泊懇親会

山鹿市から翌日視察会場の南小国へ移動し、温泉付き一棟貸しログハウスで懇親会を開催しました。



・竹の熊と製材所など周辺環境視察
南小国町で製材所を営む穴井製作所が建築した竹の熊で施主のお話を伺いながら、建築見学と喫茶利用しました。水面に移る水稻苗と梅雨のしっとりとした雨の風景が建築やラドスケープと調和した素晴らしい空間でした。設計者は福岡県を拠点に活動されてある下川徹氏です。



低い構の喫茶棟（写真左）、水盤に浮かぶ高床の能舞台（写真右）、水盤をコの字に取り囲み各棟をつなぐ回廊。
山あいの谷間に集まる豊かな水を建築空間に取り込み、水盤から水田へとどこまでも広がる田園風景を演出するとともに、地域材である小国杉を織細に使った建築との融合を見事に果たした空間を体感することができました。



建物は一段下がった水田レベルから立ち上がり、その内部空間の広がりを感じさせない外観です。田園風景に溶け込んだ主張しない建築で、想像以上にこじんまりとしたアプローチでした。



北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

■2024年度 通常総会

日時 2024年4月16日（火）17:30～18:30
 場所 J:COMホルトホール大分
 出席者 20名
 *九州支部より松島副支部長参加

◆内容

- ◇通常総会
- 総会成立について
過半数（20/21）の参加により、本総会が成立。
- 議案
 - ・第1号議案 2023年度事業報告の件 承認
 - ・第2号議案 2023年度収支決算の件 承認
 - ・第3号議案 2024年度役員の件 承認
 - ・第4号議案 2024年度事業計画の件 承認
 - ・第5号議案 2024年度収支予算の件 承認
 - ・第6号議案 1) 例会日程の件 承認
2) 委員会構成の件 承認
- その他
 - ・アートプラザの協力団体に加盟する件で提案あり。承認。

■2024年度 第2回例会

日時 2024年6月18日（火）18:15～19:30
 場所 J:COMホルトホール大分 409会議室
 出席者 27名
 (会員、協力会員、他)

◆内容

◇報告事項

- ・JIA九州支部 2024年度通常総会
- ・JIA建築家大会2024別府大会関連
- ・7月例会企画、+A総会等

◇例会企画 西村会員

○フリーディスカッション ～大分の建築動向～
 大分地域会初の試みとして、テーマを設けず、会員・協力会員・+Aの参加者全員でのディスカッションを行った。コロナ以後のそれぞれの業務状況や、建築価格、建材価格、取り組んでいること、指名競争入札、etcの話題が出た。全員が発言し、想像より活発な意見交換ができ、内容も含め非常に充実した例会企画となっただ。



■2024年度 第1回例会（メール報告）

日時 2024年5月21日（火）

◆内容

◇報告・連絡事項

- ・JIA建築家大会2024別府大会
- ・JIA九州支部 2024年度通常総会（5/25）
- ・「令和6年度木の匠育成研修事業委託」について
大分県（林産振興室）の委託を5月20日付で契約締結
- ・石井鏡成会員 春の褒章「黄綬褒章」受章

■道の駅たのうらら見学会

日時 2024年6月6日（木）

◆内容

高橋会員（大有設計）が設計に関わった『道の駅たのうらら』の竣工見学会を開催。
 会員と+Aから12名が参加し、オープン前の施設を見学。
 (施設オープン 7月7日)



北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

JIA九州支部熊本地域会2024年度通常総会

□ 総会次第

1. 開会 18:30～

出席者の確認、資料及び総会次第の確認
開会の辞

2. 総会成立宣言

会員数14人、出席者10人、委任状4人（いずれも林田会長に委任）

3. 挨拶

議長選出（丹伊田会員）

4. 議事

1号議案 2023年度の事業報告 → 承認

2号議案 2023年度の収支決算報告 → 承認

監査報告

・監査報告の中で3/24に確認したと報告があったが、書類の日付は3/28となっている。（梅田）

→ 3/24に確認し、修正があり、3/28に修正を確認し、サインしてもらった。（林田）

→ 監査について、承認

3号議案 2024年度役員・担当（案）

・環境会議は現在は活動していない会議であり、担当は名前だけなので便宜上会長にしておこうとなったかと記憶している。それであれば次期会長の吉永会員となるかと思う。（古川）

→ 環境会議の担当を吉永会員とし、承認

4号議案 2024年度の事業計画（案） → 承認

5号議案 2024年度収支予算（案） → 承認

議長退席

5. その他

・4/7～8人吉研修旅行についての連絡

6. 閉会 19:15

人吉研修旅行

人吉・球磨地方の2020豪雨災害復旧建物について、JIA熊本地域会会員が手がけた建物を中心に、一泊二日で見学旅行（研修旅行－CPD）を行った

1. 日時：2024年4月7日（日）・8日（月）

2. スケジュール

1日目（4月7日 日曜日）

芳野旅館（人吉市上青井町）見学 柴田・松下担当

災害公営住宅 エスペランサ桜峯（球磨村渡）見学 原田担当

渕田酒店本店（一勝地）見学

芳野旅館着・チェックイン

青井阿蘇神社

2日目

堤温泉 見学（人吉市新町）林田担当

街藏（人吉市紺屋町）見学 柴田担当

公衆温泉 新温泉（人吉市）

青井阿蘇神社及び・国宝記念館（隈研吾氏）

青井阿蘇神社禊橋（みそぎばし）国登録有形文化財





北福岡	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
-----	----	----	----	----	----	----	-----

熊本地域会月例会（第1回）

- 日時：令和6(2024)年4月25日(木)18:30-21:00
- 場所：熊本市国際交流会館3F研修室3
- 参加人数：14名
- 1.審議事項、協議事項1.審議事項、協議事項
 - 1-1.各事業及び担当について確認
 - ・25年賞 担当：松下 ひとり1作品程度推薦する。対象は1999年以降竣工。パワーポイントにまとめ、次回例会前までに松下会員へ送る。書式は吉永会員より送付。
 - ・住宅賞 今年度開催無し。2年に1度開催。
 - ・建築家作品展 担当：堀田、原田 県美分館1F 10/7(月)～14(日)その後八代厚生会館で巡回も検討する（吉永会員にて会場の確認）。県美分館のキャンセル料は申し込んだ時点でかかる。次回は次回以降決める。企画があるならPSオランジュリとする。
 - ・全国大会 11/28(木)～30(土) 10月にマンスリーで企画あり。災害文化財関連シンポに原田会員、柴田会員出席予定。協賛金は1.5万(個人)+1.5万(地域会)で計3万円ずつ協賛予定。スタッフ召集の役割などハッキリしてもらいたい（役割リスト等）。駐車場可否の確認と人員の変更の対応？→今後実行委員会で確認。
 - ・ライティングパーティー 担当：長野、梅田、上村 12/6(金)同仁堂OK
 - ・CPD 本日のCPDに加え今年度あと3回程度開催予定
 - ・地域交流会 他地域会とコラボなど検討。ライバに各地域会招待する。その他 修復塾休止中。
 - 1-2.運営費について 特別会計が減っていく一方なので今後運営の方策を検討していく。
 - 1-3.八代市厚生会館・建築学会名義後援について 名義後援OK

2.報告事項

- 2-1.4/6九州支部役員会・全国大会実行委員会 出席報告
- 2-2.4/7-8人吉研修 開催報告
- 2-3.各委員会より 近畿支部8人芳野旅館視察予定
- BIMレクチャ6/5(水)18時 ウェビナー（講師：原田会員）

3.その他

- ・4/20八代厚生会館 利活用アイデア発表会 参加報告・4/16(火)鹿児島地域会のオープンレクチャー、意見交換会に参加（林田、吉永）オープンレクチャー講師は和紙デザイナー原田敬子氏

4.CPD

- ・20:00～ 「熊本市庁舎建て替え問題を考える」 古川 保氏

5.閉会 21:00 次回：5/23(木)18:30～

CPD研修 4月25日 20時

熊本市庁舎建て替え問題を考える」古川 保氏

- ・熊本地震発生
- ・熊本市は建物の長寿命化政策のため、市庁舎の耐震性能の検証を安井事務所に防災拠点の機能を含めて依頼した。（H29年報告書）
- ・H29年報告書を発表した。防災拠点として耐震基準の1.5倍は満たさないとの内容だった。（一般施設は問題ないと記載あり）
- ・市は住民説明会で、一般施設としても、現行の建築基準法の耐震基準を満たさないと説明した。
- ・市議会で特別委員会が開催され、参考人招致を行い議論がなされた。
- ・杭の補強は電車通りまでの工事となり、改修不可能で建て替えの方向に進んだ。
- ・参考人が地下連続壁の存在を設計図から見つけ、地下連続壁も耐震効果を加えて検証すべきと提案し、数回の検討会が開催された
- ・（H29年報告書）は設計図を元に検証したと判明。（竣工図と比較して杭の断面は3割違った）
- ・熊本市は地下連続壁の耐震性能と杭の密集効果の検証を再度山下設計に依頼した
- ・山下設計は、地下連続壁を1枚の写真から単純梁の計算で、地震力で崩壊し、耐震対策にはならないと報告した。上部構造もごくわずか耐震不足と報告した（R1年報告書）今度は竣工図

- ・市は在り方委員会構造分科会を組織し、都市計画、防災、の観点からゼロベースで検証を委ねた。構造分科会は二つの報告書の検討は正しいと結論づけた。
- ・公開条例で、住民は施工報告書を手にいれ、地下連続壁が大林組の確かな耐震性のある施工である証拠を手にして提訴した。
- ・熊本市は建て替え候補地を4つ上げ、R6年3月までに、候補地決定、基本設計業者、実施設計業者を決定すると、前例のないスピードで進めている。



JIA九州支部各地域会 2024年5月 活動報告



北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

熊本地域会月例会（第2回）

- 日時：令和6(2024)年5月23日(木)18:30-21:00
- 場所：熊本市国際交流会館3F研修室3
- 参加人数：14名
- 1.審議事項、協議事項
 - 1-1.25年賞 → 旧西里小学校、東陽石匠館、不知火美術館図書館の3つを候補として決定する
 - 1-2.建築家作品展
八代市厚生会館は八代市文化振興課へ（まだ連絡できていない）
 - 担当：原田、堀田 そろそろ動き出そうかというところ
 - 1-3.全国大会 大会スタッフ参加名簿の作成
 - 5月30日までに実行委員会に報告する必要がある。出席者宿泊者の確認。
 - 現時点のタイムスケジュールを吉永からメールする。
 - 1-4.ライティングパーティー → 担当：長野
 - 1-5.CPD 次回以降（予定の確認）
 - 7/25山室レクチャ、その後上野、坂本開催予定。
 - 外部に向け広報を行う。（ライティングパーティー参加者、Facebook程度）

2.報告事項

2-1.各委員会より

- ・北陸支部シンポジウムに原田参加
- 能登では熊本型の仮設住宅の整備が進んでいる。5000戸建設予定だがまだ3割ほどの完成。

2-2.会費について → 地域会年会費入金依頼

3.その他

- ・BIMレクチャ6/8原田講師

4.閉会 21:00 次回：6/27(木)18:30～



JIA九州支部各地域会 2024年6月 活動報告



北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

2024年度 JIA九州支部宮崎地域会 役員会

日時：6月1日 土曜日 17:00～18:00

場所：W E B

参加人数：4名（久壽米木、作田、小嶋、越山）

議案

- ・2024.06 例会の内容について

宮崎地域会例会 第1回

日時：6月13日 木曜日 18:30～19:45

場所：宮崎ガスリビング

参加人数：正会員 8名 協力会員 1名

協議事項

- 1. 6月1日の役員会で協議した内容を提示し、それを元にして今年度の例会をどのような形式で行っていた方が良いかとについて協議した。

→ 今年度例会の大まかな年間スケジュール方針決定。

報告事項

- 1. JIA建築家大会2024 別府の現状の概要を説明
→ 貸し切りバスで会員、協力会員含め参加してはどうか等の意見あり…検討する。
- 2. 2023年度JIA新人賞受賞者訪問について
小嶋会員より6月8日（土）9日（日）に北福岡地域会と同行した件について概要の報告がなされた。
- 3. 8月3日（土）に延岡駅（エンクロス）にて建築塾報告会を予定。
併せて九州建築新人賞受賞者の「光浦氏」にも出席要請中。
※宮崎地域会事業とする予定。

その他

- 1. 7月の例会は7月11日（木）を予定。
場所、時間は本日と同様とするが、改めて連絡する。



2024年度鹿児島地域会 総会・OL・意見交換会

佐々木寿久次期支部長、熊本地域会の林田さん吉永さんに

来場いただき、盛況のうちに終えることができました。

日 時 2024年4月16日（火）

場 所 ホテルマイステイズ鹿児島天文館 2F

■総会

議長選出 岩田幸千

議事録作成人 木元 達也 議事録署名人 藤崎 松一郎

出席者：16名、委任状7名、計23名 過半数により成立。

議案1、2023年度事業報告承認の件 ・・承認。

議案2、2023年度収支決算書及び会計監査報告の件・承認

議案3、2024年度役員改選の件、鯉坂新代表他・承認。

報告1、2024年度事業計画報告の件

報告2、2024年度収支予算書報告の件

その他、今年度事業の説明等

■オープントレーニング 18:00~19:30

講師：原口敬子氏和紙デザイナー・薩摩和紙製作所

題目：「守破離 一和紙が織り成す温もりと美ー」

■意見交換会 19:30~21:30

1. 代表挨拶： JIA鹿児島地域会 新代表幹事

2. 来賓挨拶： 鹿児島県 土木部 建築技監 上村 康孝 様

3. 来賓挨拶： 鹿児島市 建設局 建築部 建築課長 甘利 敏行 様

4. 乾杯挨拶： JIA九州支部 次期支部長 佐々木 寿久 様

5. 懇談（来賓紹介、会員自己紹介）

6. 肥後潮一郎氏 住生活月間功労者国土交通大臣表彰祝い

7. 2024-JIA建築家大会別府のご案内（PR動画）

8. 閉会挨拶： JIA鹿児島地域会 協力会代表 山崎 洋 様



4/16 [TUE]
18:00-19:30

公益社団法人日本建築家協会鹿児島地域会では、2020年からオープン・トレーニングをはじめました。一般的なセミナーのほかにさまざまな企画を開催しています。第13回は、薩摩和紙製作所の和紙デザイナー、原口敬子氏が登壇します。原口敬子氏は、鹿児島県立国際大学卒業後、デニマークに留学し、ランマーク経営デザインを学ぶ。デンマーク生活で体験した温かい空間を日本の伝統工芸でつくりたいと思い、2011年より和紙の世界に入る。2014年独立。Kwashi design lab.として活動。2018年、工房を「薩摩和紙製作所」に改名。和紙の伝統を引き継ぎ、現代に生きる新たな価値和紙の表現に取り組んでおられます。

オープン・トレーニング会場：ホテルマイステイズ鹿児島天文館 山之内町2-7
事前メールで申し込みください。Zoom配信も行ないます。
メール申込：fujita.km@nkm.bbq.jp
お問い合わせの方はお問い合わせください。
主催 公益社団法人 日本建築家協会鹿児島地域会



JIA九州支部各地域会 2024年5月 活動報告



北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

鹿児島地域会5月度定例会

5月16日に地域会定例会を開催いたしました。参加人数は8名

会議後に懇親会にて今後に向けた意見交換を行いました。

■協議事項

□新年度地域会人事案の確認（別紙）

- ・会計は、本年度、水本副代表が奥様の協力で行い、次年度専門家外注を検討。奥様の業務時間に沿い支払い
- ・鹿児島地域会事務局住所の件。事務所所在地は藤崎さんの事務所所在地とする・名刺、封筒表記の件も同様とする。
- ・銀行名義も代表名でなく事務局、藤崎とし代表が変わる度に変更しないのはどうか。後日、支部確認を行い

地域会の銀行口座名は代表者名義でなければならないとの結論、住所は事務局で構わない。

□来年度地域会事業及び日程協議（別紙）の確認

- ・昨年度「役員会」と呼んでいた会合を「定例会」とし、幹事以外のHP担当やオープンレクチャー担当等々にも出席をお願いする。
- ・6月14日（金）定例会 ・7月12日（金）オープンレクチャー ・9月26日（木）定例会
- ・10月11日（金）オープンレクチャー ・11月28-30日 大分大会 ・12月2日（月）定例会
- ・1月28日（火）合同例会+オープンレクチャー ・2月13日（木）定例会 ・2月23/24日 JIA賞審査会
- ・3月7日（金）定例会 ・4月14日（月）総会+オープンレクチャー

□ホームページ更新の件（志賀）・志賀会員提案のカルムに依頼する。保守費は必要なので用意する。デザインについて注意すること

□6月22日鹿大前期合同講評会の詳細について（別紙）・6/22 海法圭氏が来鹿 正式なフライヤーは後日案内する。

□韓国全羅北道建築士会（KIRA全北）国際交流 8月末週、日程決め、参加予定者（鯉坂、宮崎、志賀、木元）

- ・8/25-28とする。協力会員、ジュニア会員にも声掛けする

□青森地域会交流の件 内容担当決め（岩田会員担当）・9/1-3で実施。古谷氏、進藤氏に希望訪問地を確認する

□JIA鹿児島会賞、KDPの件 日程候補 来年2/23、24 今後の方針 KDP上園氏、鹿大との調整

□建築家大会、各地域会からのスタッフ（11/27～30の3泊4日）（下山、鯉坂、水本、宮崎、志賀、木元）の6名予定

□建築家大会、各地域会から展示物作品提出 内容担当決め（別紙提出要項案）

- ・パネルや映像だけでなく、本物展示を目指しては。展示は木元会員担当とする

□建築家大会、鹿児島地域会協力会 他 協賛金依頼担当決め

- ・各自知り合いの協力会員等に依頼する。60万円程度、協賛金を地域会で集めたいので協力お願いする。



編集後記

強い日差しと青い空、白い入道雲が映える猛暑日が続く2024年夏。皆様、いかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。大変お待たせしました。今回のブルテンは、旧広報委員の私と有吉会員の担当でお届けする最後の号になります。4年前、JIAと支部の活動を会員の皆さんに身近に感じていただくことを目標に、年配会員から新人会員まで興味をもって読める会報誌として、内容を全面的に見直してスタートしました。広報の仕事は単に情報を伝えることではなく、お互いが見える関係を創り、個になりがちな仕事や社会の中で、タッグで取り組む意識と環境の醸成をめざして企画編集を行ってきました。この思いが少しでも届いておりましたら幸いです。本年は14年ぶりに全国大会を九州支部の担当で別府市で行います。共通の目標に向かって支部会員で協力し合い、それぞれのスタンスで大会を楽しみましょう。4年にわたり皆様にご愛読いただき、誠にありがとうございました。

広報委員長 川津 悠嗣

今回も執筆を快く受けていただいた皆様に厚く御礼申し上げます。発行時期が変更となりましたことお詫び申し上げます。オピニオンでは「地域会長・代表幹事として2年間を振り返る」をテーマに執筆いただきました。再始動の2年間で新しく、柔軟な対応で地域会を導いていただきました。2年間ありがとうございました。4年間で数多く執筆いただいた西岡さんに建築デザインで抑えるべきポイントを教えていただきました。馬場さんに30年間のさまざまなJIA関わり方を執筆いただき、活動を通して人とのつながりが広がることは豊かにしていくこと感じます。ホワイチの魅力を元住人の長野さんにレポートいただきました。建築と自然が一体化する真の快適さが伝わります。もよおしでは佐々木さんに九州建築新人賞、池浦さんに29回目を迎える「DR2024」、重田さん高濱さんに「DR高校生レポータ」を報告していただきました。私が広報を担当させていただいた4年間で若手、学生をサポートする多くの活動を掲載してまいりました。松山前支部長の次の世代を育てる思いが反映され、九州の次世代建築家の成長に大きく繋がっていくことだと思います。新事務局員の岩本さんのサポートに感謝し、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

4年間で16回のブルテン発行に携わられていただきました。ご愛読いただき、励ましのお言葉をいただいたことや執筆者とのつながり、掲載記事を通して多くを学び、取材では貴重な経験をさせていただきました。改めて執筆者の皆様、発行にご協力いただいた会員・事務局の皆様へ心より御礼申し上げます。今後もブルテンをご愛読いただければ嬉しいです。

広報副委員長 有吉兼次

